

令和元年度 事業報告書

一般財団法人大阪労働協会

はじめに

当協会は、これまで大阪労働大学講座等の公益目的支出計画事業である労働関係講座のほか、大阪府立労働センター（以下「エル・おおさか」）の指定管理業務、エル・おおさか南館運営事業や勤労者福祉の事業所福祉共済事業、若年者等の就職支援を行う人材開発事業などの円滑な運営に努めてきました。

エル・おおさかの指定管理業務については、平成18年7月から平成31年3月までの間、当協会と大林ファシリティーズ株式会社との共同事業体「エル・プラン」が、指定管理者として三期の運営を行ってきました。令和元年度からの5年間は、共同事業体に新たに株式会社コングレを構成員に加え、エル・おおさかの指定管理者として共同事業体「エル・プロジェクト」が、施設利用者の増加、サービスの向上に努め、安全で安心して利用できる施設づくりを目指した1年目の施設管理運営業務を行いました。

また、エル・おおさか南館については、引き続き安定的な経営を図るために入居者の確保をはじめ、現入居者の要望を反映した施設の整備、維持管理費等の節減などに努めてきました。

さらに、若年者等の就職支援については、エル・おおさか内の「OSAKA しごとフィールド」の運営団体の一員として事業運営を行うとともに、関係機関と緊密な連携を図り、若年者等の就労の支援と大阪産業を担う人材の育成を行ってまいりました。

I 公益目的支出計画事業

1 大阪労働大学講座

労働に関する法律や経済、福祉等について基礎から専門分野まで体系的に学べる実践的かつ高度な講座として、労働組合員・企業の人事労務担当者・労働問題に関心のある人や社会保険労務士等を対象に、前期と後期の2期に分けて大阪府と共催で開催しました。また、後期講座においては「働き方改革法」を取り上げて、その課題と問題点を考えるシンポジウムを開催しました。

【主催】 大阪府、(一財)大阪労働協会

【後援】 日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一社)大阪労働者福祉協議会、
大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会

【前期講座】

実施期間 令和元年6月11日(火)～ 令和元年9月3日(火)
午後6時30分～午後8時30分

講座回数 20回

実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室

受講者数 個人81人、1団体

終了者数 67人(14回以上出席者)

【後期講座】

実施期間 令和元年10月10日(木)～ 令和2年1月24日(金)
午後6時30分～午後8時30分

講座回数 21回(21回目(令和2年1月24日(金))に労働法分野のシン
ポジウム「働き方改革法について」を開催)

実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室(令和2年1月15日、1月
16日、1月24日は南館5階南ホールで開催)

受講者数 個人81人、1団体

終了者数 54人(14回以上出席者)

【修了者数】 36人(うち皆勤者数11人)

2 労働保険・社会保険実務講座

新しく人事労務を担当する人や労働組合等を対象に、労働保険・社会保険制度や入社から退職までの各種手続き、主な労働保険・社会保険の給付等を基礎から学ぶ講座を2回（各2日間）実施しました。

【主催】 （一財）大阪労働協会

【後援】 大阪府、大阪府社会保険労務士会

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門 I】

実施日 令和元年8月8日（木）、9日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 76人

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門 II】

実施日 令和元年11月21日（木）、22日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 65人

3 労働法基礎講座

企業人事労務担当者や労働組合員等を対象に、労働法の基礎の習得を目的に労働契約、人事異動、就業規則、労働時間、賃金、労働災害、非正規雇用等をテーマに、（各4日間）実施しました。

【主催】 （一財）大阪労働協会

【後援】 大阪府

【労働法基礎講座 I】

実施日 令和元年9月24日（火）、25日（水）、10月3日（木）、4日（金）
午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 延べ245人

【労働法基礎講座 II】

実施日 令和2年2月3日（月）、4日（火）、12日（水）、13日（木）
午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 延べ159人

II その他事業

1 エル・おおさかの指定管理業務

平成31年4月から始まりました第4期のエル・おおさかの指定管理業務は、（一財）大阪労働協会、大林ファシリティーズ㈱及び㈱コングレの3者で新たに構成しました共同事業体「エル・プロジェクト」が、大阪府立労働センター条例に定める「労働組合の健全な発展並びに労働者の教養の向上及び福祉の増進に資する」という設置目的に基づき行いました。

業務の実施にあたっては、利用者の増加を図るため、積極的な広報と利用者本位のサービスを行うとともに、施設的良好な維持に努め、各種自主事業については、勤労者や一般府民に知識と教養の深化に寄与できるよう、下記の取組み等を行いました。

しかしながら、令和元年1月に入って、国内で新型コロナウイルス感染症が確認され、大阪府でも発症者が出ました。以降この感染症は拡大化の様相となり、2月18日には大阪府知事

から集会等の主催者に自粛の要請が出され、エル・おおさかにおいても利用の自粛が始まりました。自主事業の開催中止・延期やエル・シアターでは、令和2年3月の31件の利用がすべてキャンセルになるなど、その影響は非常に大きく、大阪府からはこのキャンセルに対して、納付金額の減額措置をいただきました。

こうした中、令和2年3月27日に指定管理者構成団体3者による運営委員会を開催し、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を報告し、大阪府との令和2年度管理運営業務契約書締結、令和2年度の事業計画、管理体制計画並びに収支予算について審議し、議決しました。

(1) 公平・平等な施設運営

▶利用受付開始日の申込み受付は抽選により行い、電話等来館されない申込みは来館者の抽選後に先着順で実施しました。

▶エル・おおさかのホームページに集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。

▶利用申込みに虚偽がある場合は、適切な利用申込みをしていただくよう注意喚起しました。

▶目的利用にあたっては、目的利用を偽った料金逃れを防止するため、申込者が署名した目的利用確認書の提出をしていただきました。

▶利用者の平等利用のための指定管理業務に従事する職員を対象に、人権研修や個人情報保護研修を実施しました。

・人権研修	実施日	令和元年10月8日(火)、9日(水) 午後2時～午後3時30分
	テーマ	在日外国人の人権
	参加者	74人
・個人情報保護研修	実施日	令和2年2月25日(火)、28日(金) 午後1時30分～午後3時
	テーマ	組織に求められる個人情報保護対策
	参加者	76人

▶高齢者・障がい者等が施設を利用しやすくする次の取り組みを実施しています。

・視覚障がい者の方にも利用しやすくするため、ホームページについては音声読み上げソフトを令和2年度早々に導入する準備を行いました。

・障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担するサービスを実施しました。

(令和元年10月1日～令和2年3月実績 6件、7,488円)

・公益社団法人大阪聴力障害者協会と連携して手話通訳、文字通訳の紹介を行うとともに、案内チラシを受付に配架しました。

・指定管理業務に従事するスタッフを対象に、高齢者・障がい者対応研修を実施しました。

実施日 令和元年12月3日(火)、4日(水) 午後2時～午後3時30分

テーマ ①「視覚障がい者の立場から」
②「車いすの生活について」

参加者 39人

・指定管理業務に従事するスタッフは、「サービス介助基礎検定」の資格を取得し、資格保有者として適切に対応しました。

・聴力障がい者の方には筆談ボードにより接遇しました。

・館内に車椅子を5台備え、毎週1回メンテナンスを行い、必要とされる方に貸し出しました。

- ▶外部有識者及び利用者で構成する外部評価委員会を開催し、エル・おおさかの管理運営に関する意見・要望をいただきました。この意見・要望は施設運営に反映しました。

開催日 令和元年9月25日(水)

(2) 利用の増加を図る取組み

①広報・PR活動

- ▶エル・おおさかのロゴを平成31年4月に制定し、案内サイン、各種リーフレット、ちらし、ホームページ、職員の名刺等の広報物に一貫性、統一性を持たせ、エル・おおさかの一層のPRを図りました。
- ▶ホームページのリニューアルの実施
ホームページのデザインを見やすくわかりやすいように令和2年1月に一新しました。
 - ・利用者から質問の多い項目をQ&A方式としてFAQを掲載しました。
 - ・エル・シアターや主要な会議室を360度見渡せる動画(グーグルストリートビュー)を掲載しました。
 - ・エル・おおさかの最寄駅である「天満橋」、「北浜」からの道案内を、写真を掲載し分かりやすくしました。
 - ・視覚障がい者の方々のために、音声読み上げソフトを令和2年度早々に導入する準備を行いました。(再掲)
 - ・会議室の室料、貸出備品等の利用料金の合計がすぐわかるように簡易見積りシステムを令和2年度早々に導入する準備を行いました。
- ▶毎月1回発行の広報紙「エルちゃん☆通信」を令和元年10月号からカラー化し、各種講座やセミナーをはじめ、エル・シアターやプチ・エル、ギャラリーの催しを掲載し、大阪府内の団体や関係機関、公共施設等に配架しました。(毎月2,000部発行、配架58施設)
- ▶広いエリアへの広報
 - ・(株)コングレが運営する施設へ利用増加を図るためエル・おおさかのリーフレットやチラシを配架しました。(コングレコンベンションセンター他7施設)
 - ・(株)コングレが実施するイベント開催時にエル・おおさかコーナーを設置し、施設のPRを行いました。(令和元年9月25日、12月2日)
 - ・当協会が運営する合同企業説明会等に参加する企業等にエル・おおさかの利用案内を配付しました。(ドリームマッチジョブフェアや内定エクスプレスなどの出展企業約890社に配付)
- ▶エル・おおさかから情報発信
 - ・エル・おおさか公式Facebookを活用し、各種事業やイベント等の情報を提供しました。(提供数:41件)
 - ・メールマガジン登録者に毎月配信し、各種事業の案内をしました。(登録者数:943人)
 - ・ホームページで集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。(再掲)
 - ・「会議室ドットコム」にエル・おおさかを掲載し、エル・おおさかが安くて便利で使いやすい施設であることをアピールしました。(閲覧数:5,516人)
 - ・京阪「天満橋駅」総合案内のタッチ式デジタルサイネージにエル・おおさかを掲載し、「天満橋駅」からエル・おおさかまでのアクセス表示を行うとともに、施設のPRを行いました。

②施設改修の取組み

- ▶要望の多いWi-Fiを本館、南館の公の施設部分に令和元年9月に設置し、利用者には無料

でご利用いただくことにより、利便性を向上させ、利用者の増加に繋がりました。

- ▶本館 10 階集会室フロアのトイレの洋便器化とウォシュレットの整備、小便器及び洗面台の更新と一部手すりの設置、壁面の全面改修を令和元年5月に実施しました。(本館5、6、7階のトイレについては第3期指定管理期間中に指定管理者が改修済)
- ▶会議室の扉が木製のため、各階のロビー部分や廊下で発生する物音が会議室内に聞こえ、利用に支障をきたす場合があるため、本館5階会議室の未実施部分の防音化工事を令和元年8月に実施しました。
- ▶令和元年5～6月に本館地下1階、地下2階の駐車場及び南館5、7、10階のフロアに防犯カメラを設置し、来場者の安全性の向上、安心を確保しました。

③ソフト面の取組み

- ▶近隣のコインパーキングでは「平日」と「日曜・祝日」に駐車場料金に差を設けているため、エル・おおさかでも令和元年10月より日曜日の最大料金を2,400円から1,500円に引き下げ、利用拡大を図りました。
- ▶新規利用者の開拓と利用者の確保
 - ・プチ・エルの利用者のメンバーズカードによるポイント制度を導入しました。
1区分の利用に1ポイントを付与し、5ポイントで平日練習利用の1区分(3時間)の利用料金を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担し提供しました。
(令和元年8月1日～令和2年3月実績:10件、93,400円)
 - ・ギャラリー既利用者から新規利用者の紹介の場合、双方の利用者の利用料金を20%共同事業体「エル・プロジェクト」が負担する新規利用者紹介制度を実施しました。
- ▶近隣の自治会・管理組合には、利用料金を共同事業体「エル・プロジェクト」が20%を負担しました。(令和元年10月1日～令和2年3月実績 13件、34,952円)
- ▶イメージキャラクターの「エルちゃん」を配した卓上カレンダーやうちの販促グッズを作成し、利用者へ配布し施設のPRに努めました。令和元年12月には、近隣の会社等へ卓上カレンダーを持参し会議室等の利用を促す営業活動も実施しました。(実績:250社(団体))
- ▶利用が見込める企業・団体への施設のリーフレットの送付
 - ・スポーツ協会に加盟する67団体に会議室のリーフレットを送付しました。
 - ・エル・おおさかのロゴを配した施設の総合リーフレット、会議室、エル・シアター、プチ・エル、ギャラリーのちらしを各1万部作成し、近隣企業や大阪商工会議所会員企業、大阪府中小企業団体中央会傘下の協同組合、府内の労働組合等に送付しました。
 - ・新規利用者の開拓のため、(一社)全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)が会報誌送付の際にプチ・エルのちらしを封入し、近畿のピアノ指導者の手元にプチ・エルの案内を送付しました。効果検証は新規利用者アンケートで行いました。(送付数:129人)
 - ・ギャラリーの利用後には礼状を送付し、次回の利用案内をするなど利用者のリピーター化に努めました。
 - ・集会室でのイベントを誘致するためにレイアウト図を提供しました。
 - ・松の間以外の集会室についても、会議室が満室の場合には会議室としての利用に誘導しました。

- ▶プチ・エルの利用者増加を図るイベントとして、
 - ・スタインウェイピアノを活用したプチ・エルナイトコンサートを平日の夜間に有料で実施しました。

実施日	令和元年7月19日（金）
テーマ	名曲の数々が Hot&Cool に七変化〜トランペットとピアノによる涼風薫るナイトコンサート
鑑賞者数	52 人
参加料	500 円

- ・スタインウェイピアノの試弾会を 10 組限定で開催しました。
本館地下1階レッススタジオ「プチ・エル」に設置しているスタインウェイ（D274）の試し弾きとして参加者を募り、これまでスタインウェイを弾いたことがない方にその魅力を伝えるとともに、プチ・エルの周知を図ることを目的に実施しました。

実施日	令和元年9月15日（日）
参加料	50 分 1,000 円

- ▶事業や施設の効率的、効果的な広報を行うため共同事業体「エル・プロジェクト」において「広報・PRに関する検討会」を開催しました。（8月を除く毎月開催）

- ▶夜間時間帯の利用向上のため次の取組みを行っています。

- ・会員制自習室サービスの提供
自習を希望する方を登録し、登録した会員に対して、共同事業体「エル・プロジェクト」が会議室を借上げて自習室として無料提供しました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための令和2年3月5日からサービスを中止しています。
（令和2年3月末登録者数：680人）
- ・夜間利用者対象のポイントカードの導入
夜間利用者にポイントカードを発行して、1回の利用について1ポイントを付与し、10ポイント貯まれば、次回の利用についてこれまでにポイントを付与した一番安い会議室を利用者に提供し、その利用料金は共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。（令和元年10月1日～令和2年3月実績：6件、28,400円）
- ・夜間ブレイクタイムサービスの実施
夜間利用者に対して、近隣の飲食店と提携するため、飲食店の開拓をしました（1件連携了承）。
- ・会議室夜間利用の直前予約サービス
利用日の3日前以降の直前の利用申込みがあった場合には、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。
（令和元年9月1日～令和2年3月実績：23件、25,056円）
- ・障がい者支援事業所の夜間利用サービス（再掲）

（3）サービスの向上を図るための取組み

①ソフト面の取組み

- ▶利用申込書の受理方法について、これまでのFAXによる利用申込みのほか、利用申込書をpdf化してメールによる利用受付を令和2年1月から開始しました。
- ▶会議室・プチ・エルの利用については、利用時間区分の30分前から鍵を貸し出すサービスと、後の利用に支障のない範囲で最大15分間を後片付けの時間として利用者に提供するサービスを引き続き実施しました。
- ▶エル・シアター利用の際、利用時間区分の前後に利用がない場合に1時間の延長を行える

ようにして、より利用しやすい施設づくりを行いました。

- ▶集会室利用の際には、会議室や宴会場として利用するにあたり、机・椅子の設置、撤収に要する時間として利用時間の前後1時間を利用者に提供しました。
- ▶利用等により施設見学ができない場合に施設の写真等を取り組んだタブレットを活用して施設を把握していただきました。
- ▶毎月1日の利用受付開始日の抽選等の待ち時間に、お茶のペットボトルやエルちゃんグッズを抽選参加者に提供しました。また、1月4日の利用開始日の抽選時には福袋（卓上カレンダー、マスク、カイロ、お菓子）を利用者に提供しました。

②サービス向上のため勤労者の知識向上やスキルアップ等を図る自主事業の実施

- ▶大阪労働大学講座（再掲）
- ▶労働保険・社会保険実務講座（再掲）
- ▶労働法基礎講座（再掲）
- ▶職場のメンタルヘルス実践研修セミナー

事業所等の人事担当者やメンタルヘルスに関心のある府民を対象に、職場におけるメンタルヘルスケアの具体的な取り組みを紹介し、職場にフィードバックできる実践的な研修を開催しました。

実施日	令和元年11月14日（木） 午後1時30分～午後4時50分
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
テーマ	事業所におけるメンタルヘルス対策の現状と未来
受講者数	105人

▶労働講座 特別講座

働き方改革の展望、イノベーション人材の育成について、独立行政法人労働政策研究・研修機構（JILPT）主催、（一財）大阪労働協会共催で働き方改革に係る労働講座特別講座を開催しました。2回目は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止になりました。

①テーマ	現代日本の法政策～働き方改革と未来の展望～
実施日	令和2年2月3日（月） 午後2時～午後4時
実施場所	エル・おおさか南館10階 南1023
受講者数	59人
②テーマ	働き方改革の次に来るもの 〈開催中止〉
実施予定日	令和2年3月2日（月） 午後2時～午後4時
実施予定場所	エル・おおさか本館6階 大会議室

▶おおさかメンタルヘルスケア研究所 開所10周年記念講演会

当協会の主催事業である「職場のメンタルヘルス実践研修セミナー」の実施にあたり、協力をいただいている一般社団法人おおさかメンタルヘルスケア研究所が、開所10周年を迎え、研究所を移転し事業内容を刷新するため、メンタルヘルスに携わる企業の人事労務担当者や府民等を対象にメンタルヘルス支援をテーマに共催で記念講演会を開催しました。

実施日	令和元年6月8日（土） 午後1時～午後4時30分
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
受講者数	64人

▶内定者向け即戦力化セミナー

ビジネスゲームを活用した内定者向けの即戦力セミナーをOSAKA しごとフィールドが行う企業まるごと大相談会の中で開催しました。

実施日 令和2年2月14日（金） 午後4時～午後6時
実施場所 エル・おおさか本館6階 604号室
受講者数 5人

▶仕事で使えるパソコン講座

パソコン初心者向けにビジネスに役立つ表計算の基礎をマスターする講座を開催しました。

実施日 令和2年1月28日（火）、29日（水）、30日（木）
午前9時30分～午前12時
実施場所 エル・おおさか南館4階 会議室
受講者数 15人

▶資産形成セミナー 「ライフプランに基づいた資産運用の考え方」

金融・経済情勢が変化する中、金融に関する知識と判断力を身に付けるため、ライフプラン・マネープランの考え方や金融商品等の基礎を学ぶセミナーを日本証券業協会の協力により開催しました。

実施日 令和元年11月15日（金）、22日（金）、29日（金）
午後6時30分～午後8時30分
実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 延べ128人

▶わくわく子どもフェスティバル（㈱コングレとの共催事業）

共同事業体「エル・プロジェクト」の構成員である㈱コングレと当協会が共催で、親子で参加できる「科学実験ショー」と「スライムで思いっきり遊ぼう!!」の2部構成のイベントを開催しました。

実施日 令和元年12月8日（日） 午後1時30分～午後3時45分
実施場所 エル・おおさか本館 9階ギャラリー1 同10階松の間
参加者数 子供30人、保護者26人

▶親子で楽しむ！ ハロウィンパーティ（サントリーパブリシティサービス㈱との協力事業）

大阪市中央公会堂などの指定管理者として施設の運営を行っているサントリーパブリシティサービス㈱の協力を得て、親子で楽しめるハロウィンのかぼちゃの帽子づくりやフェイスペイント、ストリートオルガンによるコンサートのイベントを開催しました。

実施日 令和元年10月22日（火・祝） 午後1時～午後3時
実施場所 エル・おおさか本館10階 集会室
参加人数 47人

▶勤労者をはじめ広く府民の文化教養に資するための事業を実施しました。

・ランチたいむコンサート

エル・おおさかの利用者や近隣の勤労者が音楽に触れる機会を提供するとともに、エル・おおさかをより身近な施設と感じてもらうことを目的に（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で実施しました。

実施日 毎月第3月曜日
（7月、9月は祝日のため翌日の火曜日に開催、3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止）

- 午後0時10分～午後0時50分
- 実施場所 エル・おおさか本館10階 梅寿の間
(令和2年1月、2月はプチ・エルで開催)
- 観賞者数 延べ767人(平成31年4月～令和2年2月)
- ・プチ・エル ナイトコンサート(再掲)
 - ・スタインウェイピアノ試弾会(再掲)
 - ・特別講演会
 評論家や文化人、作家等著名な講師を招いて、勤労者や府民の教養の向上に資することを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で特別講演会を開催しました。

第1回	実施日	令和元年8月28日(水) 午後6時30分～午後8時
	実施場所	エル・おおさか本館 エル・シアター
	テーマ	心がフッと軽くなる瞬間の心理学!
	講師	名越 康文
	参加者数	326人

 第2回 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は中止し、令和2年度に延期

	実施予定日	令和2年3月25日(水) 午後6時30分～午後8時
	実施予定場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
	テーマ	読むこと、生きること～『私の本棚』をめぐって～
	講師	中江 有里
 - ・歴史セミナー
 勤労者や府民等に歴史や文化に親しみを感じてもらい、教養を深めてもらうことを目的に、歴史検証の第一人者を講師として迎え、古代を題材にして毎月1回開催しました。なお、第6回(3月19日(木) 実施予定)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は中止し、令和2年度に延期しました。

前期	テーマ	巨大古墳の世紀～古墳時代の技術の開花～
	実施日	平成31年4月18日(木)～令和元年9月26日(木)
		毎月1回 午後2時～午後3時30分
	実施場所	エル・おおさか本館6階 大会議室
	受講者数	延べ655人
後期	テーマ	平城京とその時代～都を結ぶ道・人・寺～
	実施日	令和元年10月23日(水)～令和2年2月20日(木)
		毎月1回 午後2時～午後3時30分
	実施場所	エル・おおさか本館6階 大会議室
	受講者数	延べ339人(10月23日～2月20日の5回分)
 - ・文化芸術サロン
 勤労者や府民等に文化に親しんでいただくとともに、教養を深めてもらうことを目的に、古代文化等興味深いテーマを取り上げて開催しました。

第1回	テーマ	シルクロードの歴史と文化
	実施日	令和元年8月2日(金)、23日(金)、30日(金)
		午後2時～午後3時30分
	実施場所	エル・おおさか本館5階 視聴覚室
	受講者数	延べ262人
第2回	テーマ	萬葉集 最終ステージへ
	実施日	令和元年11月29日(金)、12月6日(金)、13日(金)
		午後2時～午後3時30分
	実施場所	11月29日(金)、12月6日(金) エル・おおさか本

館 5階視聴覚室

12月13日（金）エル・おおさか本館7階 709号室

受講者数 延べ139人

・なにわ美術展

大阪府内の勤労者や府民が余暇を活用して制作した絵画の公募展を、（一社）大阪労働者福祉協議会と共催で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

実施予定日 令和2年3月6日（金）～3月11日（水）

実施予定場所 エル・おおさか本館9階ギャラリー、同10階集会室

③サービス向上を図るための委員会等の設置

▶外部評価委員会の設置及び開催（再掲）

▶共同事業体「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置

次の委員会等を設置して利用者サービスの向上を図りました。

・事業進捗・検証委員会

提案した項目の進捗の確認と満足度を得ているか検証を行いました。

開催日 8月を除く毎月第2金曜日

・共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会

個人情報の適正な取扱いについて検証するため個人情報の取扱いに関する覚書に基づき、共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会を開催しました。

開催日 令和元年10月2日（水）

・スタッフ情報交換会議

各部門の担当者が日ごろ気づいた事柄や利用者の意見要望等の意見交換を行い、利用者サービスの向上を図りました。

開催日 8月を除く毎月第2木曜日

④サービス向上を図るためのその他の取組み

▶利用者満足度調査の実施

エル・おおさか利用者を対象に年1回（2～3月）満足度調査を実施し、利用者の意見やニーズを把握して施設運営に反映させ、この結果はホームページに掲載しました。

▶月極めコインロッカーの設置

本館1階にコインロッカーを設置し、定期的な利用者の利便を図りました。

▶コピーサービスの実施

本館1階に設置したワークステーションにモノクロ・カラーコピーやパソコンからの出力も可能な複合機を設置し、利用者の利便を図りました。

▶「+voice」（意見箱）の設置

公の施設部分に意見箱を設置して、利用者の意見、要望等をいただき、回答を検討作成し、ホームページへの掲載と館内に掲出するとともに、施設運営に反映しました。

▶館内巡回および定期点検の実施

スタッフが毎日館内巡回を行い、現状を把握するとともに定期点検を毎月実施し、利用者に快適な利用環境を提供しました。

▶会員制自習室の運営（再掲）

(4) 管理運営業務を実施する具体的な取組み

①災害時・緊急時に備えた取組み

- ▶南海トラフ地震など災害時に発生すると思われる利用者の帰宅困難者が滞在できるように170名が3日分の非常用寝具、非常用食料品、保存水等の備蓄を行いました。(令和元年7月19日に保存期間が終了する保存水、アルファ化米、パン、ミニクラッカー、ウェットティッシュを更新しました。)
- ▶防災訓練(年2回)、エレベーター閉じ込め対応、不審者、急病人対応等の訓練を実施しました。

・防災訓練	実施日	令和元年 8月20日(火)
	実施日	令和元年10月29日(火)
・夜間を想定した消防訓練	実施日	令和2年 3月10日(火)
・エレベーター閉じ込め救出訓練	実施日	令和元年10月21日(月)
・不審者等対応訓練	実施日	令和元年12月20日(金)
・急病人対応訓練	実施日	令和元年12月20日(金)
- ▶災害時に備えて救助担架、ハンドメガホン、ヘルメット、多機能ライト、救助工具等の非常用物品を配備しました。
- ▶エル・おおさかから約100mの位置にある大林ファシリティーズ(株)が運営する大阪ビル群管理センターの遠隔監視システムを導入し、24時間・365日、常時遠隔監視を行い、夜間の異常発生時にも対応しました。

②研修の実施

- ▶スタッフ全員を対象とした研修を実施しました。

・接遇マナー研修	実施日	令和元年11月15日(金)、27日(水)
		午前9時45分～午後0時15分
	テーマ	接遇ホスピタリティ研修
	参加者	35人
- ・個人情報保護研修(予定)(再掲)
- ・高齢者・障がい者対応研修(再掲)
- ・人権研修(再掲)

(5) 施設改修工事

利用者の増加とサービスの向上を図るため、「利便性の向上」「美観性の向上」「安全性の向上」「緊急性」の観点から施設・設備の改修工事を実施しました。(一部再掲)

- ▶利便性の向上
 - ・本館10階男女洋式トイレブース備品の設置
 - ・本館トイレ用便座除菌クリーナー剤の購入
 - ・本館5階会議室扉の未実施部分の防音化
 - ・料金改定に係る施設予約システムの改修
 - ・本館5階視聴覚室外気冷房設備設置工事
 - ・Wi-Fiの設置に関する工事(本館5～7階、9階、10階、ホール舞台、南館5、7、10階)
- ▶美観性の向上
 - ・本館東面外部看板撤去工事
 - ・本館外部看板改修工事

- ・本館1階エレベーター廻りサイン改修工事
- ・本館10階トイレ改修工事
- ・本館外部柱LED照明取替工事

▶安全性の向上

- ・本館地下駐車場防犯カメラの設置
- ・電動防火シャッターの点検調整及び電動開閉器の移設
- ・本館消防設備点検による消防設備改修工事（前期分）
- ・本館消防設備点検による消防設備改修工事（後期分）
- ・本館エル・シアター大道具搬入用ホイスの補修
- ・本館用鍵管理システム更新工事
- ・本館5階視聴覚室の段差部分改修工事
- ・本館飲料水消毒用薬剤の購入
- ・非常用自家発電機用A重油の購入

▶緊急性

- ・本館冷却水総合水処理剤の購入
- ・本館空調機用フィルタの取替
- ・本館プチ・エル ドアクローザー取替
- ・本館排水管洗浄剤の購入
- ・本館10階厨房排水管更新工事
- ・本館空調機用Vベルトの購入
- ・本館エル・シアター専用駐車場出口土間陥没補修工事
- ・本館6階男子トイレ小便器排水管洗管工事
- ・本館6階トイレ天井内污水管漏れ修理工事
- ・本館9階西側男女トイレ和便フラッシュバルブ取替
- ・本館エル・シアタートイレ手洗自動水栓用リチウム電池の購入
- ・本館10階宴会場「竹の間」錠前取替
- ・本館10階空調ドレン系統排水管洗管工事
- ・本館1階男子トイレ洋便器漏水修理工事
- ・3人掛けベンチ更新

（6）施設の利用状況

【平成31年4月～令和2年3月】

区 分	利用件数	利用人数	利用料金収入
会議室	11,399 件	588,979 人	176,079,640 円
エル・シアター	217 件	175,801 人	48,578,790 円
プチ・エル	312 件	24,480 人	6,297,570 円
ギャラリー	297 日	—	7,135,725 円
集会室	264 件	17,560 人	5,915,550 円
計	12,489 件	806,820 人	244,007,275 円
駐車場	25,062 台	—	26,454,600 円
収入合計	—	—	270,461,875 円

(7) 大阪府への納付金額

効率的な施設運営、経費節減に努め、大阪府へは提案どおり 3,710 万円を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集会の自粛要請が大阪府から発出され、その要請に基づき利用が中止された利用のキャンセル料の補填が大阪府からありましたので、納付金額は 1,829 万 5,180 円減額され、1,880 万 4,820 円を納付しました。

(8) 社会貢献等への取組み

①社会貢献・地域活動等

▶献血活動への協力

日本赤十字社に献血車の配車を依頼し、令和元年 11 月 6 日（水）に入居団体や来館者、近隣の会社等に献血を呼びかけ献血活動に協力しました。（献血者：14 人）

- ▶令和元年10月の台風19号による災害の支援のため「令和元年台風19号災害義援金募金箱」をエル・おおさか本館 1 階に令和元年11月 1 日（金）から11月30日（土）まで設置しました。（義援金額：7,563円）

NHK歳末たすけあい運動が終了した令和元年12月26日（木）から令和2年3月31日（火）までの間も引き続き募金箱を設置し、義援金を募りました。（義援金額：5,974円）

- ▶大阪府共同募金会と連携してNHK歳末たすけあい運動に協力し、令和元年12月 1 日（日）から 12 月 25 日（水）までエル・おおさか本館 1 階に募金箱を設置しました。（募金額：4,839 円）

- ▶エル・おおさかが所在する北大江地区のまちづくり実行委員会と地域内各店舗が手作りで開催する「北大江たそがれコンサート」に協力し、練習場所等を提供しました。

- ▶共同事業体「エル・プロジェクト」の職員が中心となり、エル・おおさか周辺の清掃活動を毎月第 3 金曜日に実施しました。

- ▶地域貢献の一環として、エル・おおさか近隣の自治会やマンションの管理組合が利用する際には、共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金の 20%を負担しました。（再掲）

- ▶知的障がい者の清掃業務について、本人の希望を尊重し、令和元年度も知的障がい者を 2 名継続雇用しました。

②府民・NPO 等との協働事業

- ▶NPO 法人大阪府民環境会議が実施する天神祭ごみゼロ運動に協力し、ボランティアの説明会場、打ち合わせ会場として会議室を共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金を負担し、提供しました。

- ▶（一社）大阪労働者福祉協議会と連携して、特別講演会、ランチたいむコンサート、プチ・エルナイトコンサートを開催しました。（再掲）

▶一時保育の実施

子育て中の府民等が、共同事業体「エル・プロジェクト」が開催した「歴史セミナー」や「文化芸術サロン」に参加しやすいようにチラシで広報し、社会福祉法人吹田みどり福祉会と連携して、無料の一時保育を広報しました。

- ▶エコキャップ運動への協力

NP0 法人エコキャップ推進協議会が実施するエコキャップ運動に協力し、ペットボトルのキャップの収集ボックスを設置しました。

③環境問題への取組み

- ▶適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル、ゴミの再資源化、自動車利用の抑制等の取組を行い、共同事業体「エル・プロジェクト」のうち、(一財)大阪労働協会と(株)コングレは「関西エコオフィス宣言」事業所に登録しました。
- ▶本館各階ロビー、トイレ及び集会室の照明をLED化し、年間消費電力量及びCO2排出量の削減に努めました。
- ▶雨天時には、エコの観点から傘袋を廃止し、しずくを落とせる装置を本館、南館の出入口に設置しました。
- ▶施設内でのゴミを減らすため、ゴミ箱を撤去して、利用者にゴミの持ち帰りをお願いし、ゴミの減量化、分別を継続実施しました。
- ▶大阪市からは「令和元年度ごみ減量優良建築物」の決定通知を受けました。

2 労働センター南館運営事業

労働センター（エル・おおさか）南館については、借地権信託事業が終了し、平成26年4月から、労働協会が建物所有者として運営を行い、令和元年度においても、協会、大阪府、りそな銀行で構成する「南館三者懇談会」を開催し、大阪府との府有地の賃貸借契約に則り、円滑かつ効率的な運営とりそな銀行への着実な残債の返済に努めました。

平成28年度に策定した「長期修繕計画」については、策定から3年が経過したため修繕項目や実施時期の見直しを行いました。建築、設備に係る改修工事を着実に実施することで、入居者に安全で快適な執務環境の提供と建物の資産価値の維持向上を図っています。

1. 入居率 95.81%（令和2年3月1日現在）

2. 「南館三者懇談会」の開催

〔第1回〕	開催日	令和元年9月24日（火）
	場 所	エル・おおさか本館5階 504号室
	議 題	①令和元年9月1日現在の入居状況について ②労働センター南館 長期修繕計画の見直しについて ③平成30年度決算報告について ④令和元年度執行見込について ⑤意見交換
〔第2回〕	開催日	令和2年2月19日（水）
	場 所	エル・おおさか南館12階 打合せ室
	議 題	①令和2年2月19日現在の入居状況について ②労働センター南館 長期修繕計画の実施状況について ③令和元年度収支見込及び返済額について ④意見交換

3 人材開発事業

令和元年度の人材開発事業では、委託事業 17 件を受託し、このうち 10 件は国及び地方自治体から受託しました。他 7 件は各種機関並びに大学等民間から受託しました。また、自主事業として 2 事業を事業化し、そのひとつは平成 30 年度から実施している商工会連合会等への講師派遣事業を実施しました。さらに、新たな自主事業として、これまでのノウハウを活かし、合同企業説明会『OSAKA ジョブフェア』を企画し実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止しました。

事業の傾向としては、平成 30 年度と同様に求職者側の売り手市場による中小企業の人材確保の課題改善が必要であることから、セミナーやマッチングメニューは増加傾向にありました。特に大阪府事業では、企業の課題ごとに、初歩的な課題から高度な課題までを段階的に学べる『HR セミナール』のほか、企業の課題を可視化する『企業診断』など新たなコンテンツを開発しました。また、通常業務が忙しい企業にとって、1 日で複数のセミナーが受講できる『企業まるごと大相談会』を開催するなど新しいチャレンジを行いました。

求職者支援では、企業経営に資する人材の集客のため、比較的能力が高く、応募段階にある活動層に向けたメニュー開発を中心に実施しました。また、OSAKA しごとフィールド運営委託事業では、求職者に対して個別対応を行う「チューター」を配置し、ガイダンスやヒアリングを強化することで、一人ひとりに合わせた支援を開始しました。堺市事業や京都府事業では求職者集客を強化し、登録者の確保を例年以上に取り組みました。

ただ、年度終盤は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から各事業のセミナーや交流会、合同企業説明会等が中止となりました。また、景気の先行きが不安定になる中で、企業の求人取り下げなど影響が出ており、労働市場に変化が出ています。

事業目標と実績については、概ねの項目で達成しており、委託元から高い評価を得ています。

(1) さかいJOBステーション事業運営業務

(堺市受託事業)

堺市が設置している「さかい JOB ステーション」及び「JOB ステーション南サテライト」の各拠点の管理運営、並びに「JOB カフェ SAKAI」、「女性しごとプラザ」及び「企業人材マッチング支援プラザ」の各事業の運営を行いました。39 歳までの若者と全年齢の女性を対象に総合的に就業を支援すること、及び人材確保が困難な市内中小企業等へのマッチング機会を併せて行い、堺市内における雇用の安定化を進めました。

【決算額：94,040,792 円】（事業期間：平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
来訪者数	11,000 人	10,909 人 (99%)
新規登録者数	2,200 人	3,118 人 (142%)
就職決定者数	1,600 人	1,632 人 (102%)
新規登録企業数	50 社	76 社 (152%)
求人企業情報件数	500 件	526 件 (105%)
合同企業説明・面接会数	1 回	1 回 (100%)
企業交流会数	67 回	72 回 (107%)

(2) OSAKAしごとフィールド運営委託事業

(大阪府受託事業)

大阪府では、平成25年9月に総合就業支援施設「OSAKA しごとフィールド」をエル・おおさかに設置し、若者、女性、中高年齢者、障がい者等の就業を支援するとともに、中小企業の人材確保に取り組んできました。この間、労働市場の大幅な改善がみられましたが、それでもなお、就職を希望するにもかかわらず就職につながらない、もしくは就職しても継続して就業することができない求職者の存在など、様々な課題が顕在化してきました。また、人口減少社会において中小企業における人材不足は深刻な状況にあり、特に「製造」「運輸」「建設」業界の人材確保は喫緊の課題となっています。

そこで、社会環境の変化や中小企業のニーズを的確に把握し新たな政策課題に対応する支援策を研究するとともに、先駆的に課題解決に取組み、セミナーの開発や広報の企画、公共職業訓練の実施、データベースシステムの開発・運用等を駆使した新しい OSAKA しごとフィールドを目指し平成29年度から NPO 法人 HELLOlife と共同企業体を構成し運営しました。令和元年度の実施メニューは以下のとおりです。

A OSAKA しごとフィールド運営業務

- ・受付 ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務 ・イベント実施 ・調査
- ・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報

B 公民協働人材確保推進事業（求職者向け就職支援）

- ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務・セミナー企画 ・セミナー運営 ・セミナー広報
- ・チューター業務、キャリアチャレンジプログラム、マッチング業務、定着業務、イベント開催

C 公共職業訓練事業

- ・全体広報 ・管理運営 ・WEB 管理業務・職業訓練講師 ・職業訓練広報

【決算額：42,939,642 円】（事業期間：平成29年5月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
新規登録者数	14,000 人	14,071 人 (101%)
就職決定者数	8,000 人	6,887 人 (86%)
B 事業新規登録者数	3,000 人	3,898 人 (130%)
B 事業就職決定者数	1,200 人	1,268 人 (106%)
良質安定就職者数	520 人	533 人 (103%)
誘導セミナー開催数	58 回	55 回 (95%)
誘導イベント開催数	2 回	3 回 (150%)
導入セミナー開催数	36 回	31 回 (86%)
コーチングセミナー開催数	48 回	44 回 (92%)
実践セミナー開催数	72 回	62 回 (86%)
マッチング開催数	48 回	43 回 (90%)
定着支援開催数	30 回	24 回 (80%)
有償 OJT 参加者数	80 人	5 人 (6%)
職業訓練開催数	4 回	2 回 (50%)
職業訓練参加者数	20 人	3 人 (15%)

(3) 京都ジョブパーク事業「移住人材確保支援業務」

(京都府受託事業)

京都府内の企業の人材不足等に対応するため、主に首都圏・近畿圏をはじめ全国の都市部に在住する者の京都府への還流を促進しました。また、京都府内南部地域在住者の京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の行政区域）への還流を図りました。

具体的には、カウンセリングやセミナーなどUIJ ターン就職を希望する求職者への就職支援及び人材確保に課題を有する京都府内企業の求人開拓や求める人物像の発信等による人材確保支援を行いました。加えて、京都府が実施する無料職業紹介権を最大限に活用し支援を実施しました。

【決算額：36,737,624 円】（事業期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
新規登録者数	2,700 人	2,829 人 (105%)
就職内定者数	1,200 人	1,411 人 (118%)
正社員内定者数	350 人	331 人 (95%)
UIJ ターンナビ訪問者数	200,000 人	244,900 人 (122%)
UIJ ターンナビ新規登録者数	600 人	351 人 (59%)
求人掲載数	400 件	306 件 (77%)
移住交流体験者数	40 人	39 人 (98%)
大学内 UIJ 就職相談会開催数	20 回	21 回 (105%)
京都府無料職業紹介内定数	10 人	15 人 (150%)
田舎暮らしの連携イベント数	5 回	8 回 (160%)

(4) 近畿経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業

(近畿経済産業局受託事業)

生産年齢人口が減少する中、人手不足は恒常化する構造的課題となっています。地域や中小企業等の成長・発展には、付加価値の拡大や労働生産性を向上させる多様な人材が不可欠であり、近畿地域においては全国同様に若者の首都圏への流出も問題となっています。さらに、関西の大学卒業後の学生を如何に関西に引き留めるかが、大きな課題でもあります。平成 30 年度当事業で行った調査（レポート「学生に響く中小企業の魅力発信」）においても、中小企業の情報や魅力が学生に届いていないこと、企業と学生との間に意識の隔たりがあることが判明しています。

そこで、本事業では、地域の中小企業等が直面する人的課題の解決を支援しました。地域の中小企業等の人材不足対応力を強化し、地域内外の女性・シニア・外国人といった多様な人材の発掘・確保・定着の一括支援、中小企業等の多様な人材活用の支援を、近畿経済産業局が所管する地域（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を対象に実施しました。

【決算額：89,580,000 円】（事業期間：令和元年 5 月～令和 2 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
企業満足度	80%	88% (110%)
シンポジウム参加企業数	80 社	98 社 (123%)
人材確保セミナー参加企業数	620 社	778 社 (125%)
定着研修参加企業数	140 社	279 社 (199%)
コンサルティング参加企業数	30 社	29 社 (97%)
コンサルティング課題解決率	80%	75% (94%)
地域版マッチング会参加企業数	120 社	169 社 (141%)
広域版マッチング会参加企業数	120 社	128 社 (107%)

(5) 生涯現役地域連携事業「職域拡大実践事業」業務

(厚生労働省⇒大阪府高齢者就業機会確保地域連携協議会再委託事業)

国においては、少子・高齢化が進展する中、健康で意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働き続けることができる生涯現役社会の実現に向けた取組みを進めており、特に 65 歳以降の高齢者の雇用・就業機会の確保が重要な課題であるため、その解決を目指して実施しました。大阪府高齢者就業機会確保地域連携協議会では、高齢者の経験や知識、優れたコミュニケーション能力等を活かし、高齢者の新たな職域拡大につながる就業機会を開拓するとともに、双方のマッチングにより高齢者の就職に結びつけるための事業を実施しました。

【決算額：8,929,470 円】(事業期間：平成31 年4 月～令和2 年3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
就職決定者数	65 人	76 人 (117%)
企業開拓社数	40 社	86 社 (215%)
セミナー参加者数	450 人	452 人 (100%)
セミナー開催数	20 回	15 回 (75%)
シニア人材育成講習参加者数	45 人	48 人 (107%)

(6) 学生地域就職推進業務

(大阪府受託事業)

大阪府から東京圏への人材流出の抑制と、企業の人材確保による大阪経済の活性化を実現するため、府内大学生と府内企業との接点を創出する学生地域就職推進業務を実施しました。大学低学年次から積極的に学生と企業との接点を創出し、府内企業への就職意欲を向上させマッチングにつなげることで、府内中堅・中小企業の人材確保を図るとともに、採用後の若手社員の交流の場を設けることで府内企業への定着を促進しました。これらの業務により、若年層における東京圏への人材流出の抑制を図りました。

【決算額：28,187,964 円】(事業期間：平成31 年4 月～令和2 年3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
企業開拓数	150 社	245 社 (163%)
参加学生数	1,830 人	1,930 人 (105%)
連携大学メニュー参加企業数	50 社	82 社 (164%)
合同企業説明会参加企業数	120 社	131 社 (109%)
逆オファー交流会参加企業数	20 社	24 社 (120%)
求人情報掲載企業数	150 社	155 社 (103%)
異業種交流会開催数	3 回	3 回 (100%)

(7) OSAKAしごとフィールド 中小企業の人材確保支援事業

(大阪府受託事業)

大阪府の労働市場は大幅に改善しています。企業が人材を確保するには、求職者にとって魅力ある企業となり、かつそれを求職者に適切な方法で訴えかけることが重要となっています。特に人材が不足している分野（製造・運輸・建設）においては、「労働条件が厳しい」といったネガティブなイメージが根強い、就業可能な女性や若者が多数存在するにも関わらず、企業の人材確保ができていないといった状況にあります。このため、人材不足の状態にある「製造」「運輸」「建設」の3分野とインバウンド関連を含めた37分野を中心に、業界のイメージアップや、働く職場環境の整備等を進め、企業の人材確保の推進を実施しました。また、平成28年度から開始した企業主導型保育推進業務についても本事業内で実施し、待機児童解消に取り組みました。

【決算額：88,185,664円】（事業期間：令和元年5月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
人材確保ができた企業数	300 社	334 社 (111%)
求人情報掲載社数	70 社	84 社 (120%)
人材確保相談対応社数	3,500 社	1,276 社 (36%)
企業診断受診企業数	1,000 社	1,083 社 (108%)
人材確保セミナー開催数	52 回	53 回 (102%)
合同企業説明会開催数	4 回	4 回 (100%)
戦略的採用セミナー参加企業数	215 社	331 社 (154%)
長期定着セミナー参加企業数	150 社	223 社 (149%)
しごと力セミナー参加企業数	100 社	108 社 (108%)
タレントシェアリング成功件数	10 件	10 件 (100%)
企業主導型保育セミナー開催数	12 回	11 回 (92%)

(8) グローバル人材(外国人留学生)採用・定着支援業務**(大阪府受託事業)**

大阪府人口ビジョンによると、大阪の生産年齢人口は、2010年の565万人から30年後の2040年には27.6%減少し、409万人になるといわれています。すでに府内企業の人材不足は深刻な状況にあり、特に優秀な人材の確保に苦戦しています。それに加えて、インバウンドの需要拡大や海外展開等、グローバル化への対応にも迫られています。また、5年後には大阪で「2025大阪・関西万博」が開催されることに伴い、優秀な人材のニーズはますます高まってくるものと予想されます。

そこで、府内企業と外国人留学生の相互理解を促進し、マッチング支援をするとともに、採用後も長く活躍できるよう、フォローアップ体制の構築も含め企業の育成に取り組みました。

【決算額：1,232,407円】(事業期間：平成31年4月～令和2年3月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
留学生採用セミナー参加企業数	240 社	367 社 (153%)
留学生セミナー開催数	3 回	3 回 (100%)
留学生の就職者数	90 人	102 人 (113%)

(9) 女性活躍促進企業の認証及びアウトリーチ型企業啓発・支援事業業務**(大阪市受託事業)**

大阪市では平成26年度から、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業等を、一定の基準に則り認証し、当該の企業等が社会的に認知されることでその取組が広く普及することを目的として、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証を実施しています。また、平成29年度から中小企業における女性活躍推進の取組を促進・支援するため、取組初期段階の意欲的な中小企業をチャレンジ企業として認証することとし、制度の拡充を行いました。

本事業では、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」及び「チャレンジ企業」の認証・支援、認証企業を対象とした先進事例の研究、企業間情報交換等の機会や、新たに女性活躍の取組が進んでいない中小企業等に対して女性活躍の重要性の理解を促進しました。アウトリーチによる啓発、中小企業等の管理者層や企業で働く方を対象とした両立支援講座を実施しました。

【決算額：16,721,119円】(事業期間：令和元年7月～令和2年3月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
アウトリーチによる啓発企業数	1,000 社	1,902 社 (190%)
取組支援企業数	100 社	143 社 (143%)
チャレンジ企業認証件数	60 件	15 件 (25%)
一つ星、二つ星認証件数	70 件	76 件 (109%)
アンケート満足度	75%	95% (127%)

(10) 企業主導型保育事業利用促進セミナー事業**(大阪府受託事業)**

地域の企業主導型保育事業者を一堂に集め、就業希望の子育て世代に企業主導型保育施設の利用を促進するセミナーを開催（年3回実施）することで、企業主導型保育事業の一般府民への周知を図り、定員の充足率向上のための支援をすることを目的に実施しました。

【決算額：985,160円】（事業期間：令和元年10月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
セミナー開催数	3回	3回 (100%)

(11) 四天王寺大学インターンシップ事業**(学校法人四天王寺学園受託事業)**

四天王寺大学経営学部では、3年生全員がインターンシップを行うメニューを新入生募集の際に掲げていますが、キャリアセンターの人員だけでは対応できないことから、大学に代わり100名のインターンシップ先の確保及び1週間程度の管理業務を実施しました。また、事前・事後研修を行い、インターンシップを有効なものとなるよう実施しました。

【決算額：5,384,826円】（事業期間：平成31年4月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
インターンシップ参加人数	100人	98人 (98%)

(12) 関西電気管理技術者協会5年毎研修**(一般社団法人関西電気管理技術者協会受託事業)**

関西電気管理技術者協会では、会員約900名が在籍しており、その中から毎年180名の研修を実施しています。平成29年度から5年間の研修を当協会が受託し、カリキュラム開発、基調講演、グループディスカッション運営等を実施しました。なお、令和元年度は、2回の研修の内、1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

【決算額：209,000円】（事業期間：平成29年12月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
セミナー開催数	2回	1回 (50%)

(13) 大阪管工機材商業協同組合ポータルサイト制作事業**(大阪管工機材商業協同組合受託事業)**

大阪管工機材商業協同組合とは、これまでビジネスマッチングイベントにおいて学生のインターンシップを実施するなど、会員企業の人材確保不足を解消するため各種メニューを実施してきました。

令和元年度は、組合員企業の人材確保のための情報ポータルサイトの制作を行うとともに、デザイン、仕様、運用マニュアルに関して作成を行いました。

【決算額：2,372,757 円】（事業期間：令和元年6月～令和2年3月）

(14) 近畿大学カウンセラー派遣事業

(近畿大学受託事業)

近年大学など教育現場において発達障害の学生や発達障害の可能性のある学生が増加しています。それらの学生は、就職支援段階において適正な支援が必要となっていますが、専門的な人材が不足しているのが実情となっています。

近畿大学でもこの課題は年々高まっていることから、令和元年度より、当協会からカウンセラーを派遣し、学生の相談対応など就職支援を行うとともに、OSAKA しごとフィールドやさかい JOB ステーションで開催されるマッチング会やセミナーとも連携を図りました。

【決算額：945,270 円】（事業期間：令和元年6月～令和2年3月）

(15) 大阪府立大学工業高等専門学校学内合同企業説明会事業

(株式会社池田泉州銀行受託事業)

池田泉州銀行では平成21年から融資先企業における人材確保支援を開始し、行政と連携しこれまで多数の合同企業説明会を開催してきました。近年、企業では研究開発や製品開発など専門性の高い人材を求める傾向にあり、工業高等専門学校の学生に対する合同企業説明会ニーズが高まっていることから、平成28年度から池田泉州銀行が主催者となり、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と、取引企業との出会いの機会を創出するイベントを実施しています。令和元年度は参加企業数枠を拡大し実施しました。

【決算額：7,205,000 円】（事業期間：令和元年10月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
参加者企業数	120 社	132 社 (110%)

(16) 京都一体的実施事業

(京都労働局⇒オムロンエキスパートリンク(株)再委託事業)

主に京都府外の都市部に在住する求職者に対して、京都府内の企業の魅力を発信し、マッチングの促進を目的に、大阪市中心部のエル・おおさかにおいて合同企業説明会を開催しました。

【決算額：2,435,141 円】（事業期間：令和元年11月～令和2年2月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
参加者企業数	10 社	10 社 (100%)
参加者数	30 人	41 人 (137%)

(17) 大阪府委託訓練事業（しごと力養成）

（大阪府⇒近畿中小企業溶接事業協同組合再委託事業）

近畿中小企業溶接事業協同組合が受託する大阪府委託訓練事業（しごと力養成＋キャリアスタート実践科 建設コース・製造コース）に係る導入研修の講師業務及びカウンセリング業務を実施しました。

【決算額：300,000円】（事業期間：令和元年6月～令和元年12月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
開催コース数	2コース	2コース (100%)

(18) 講師派遣事業

（自主事業）

人材開発部の職員が、商工会議所や大学等から講演の依頼を受けセミナーを実施します。
令和元年度は、商工会連合会と泉佐野商工会議所の企業向けセミナーを実施しました。

【決算額：172,600円】（事業期間：令和元年6月～令和2年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
講演回数	2回	2回 (100%)

(19) OSAKAジョブフェア開催事業

（自主事業）

中小企業の人材確保と学生・若年求職者にとって有効なマッチング機会となり、多数の関係機関が協力するイベントとして、平成24年12月に第1回目のOSAKAジョブフェアを開催しました。これまで大阪府や近畿経済産業局からの委託事業において計9回開催し、1,200社以上14,000人が参加する人気イベントとして確立されています。

令和元年度は、協会主催の初めての合同企業説明会(OSAKAジョブフェア)を令和2年3月6日(金)にハービスホールで開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月27日(木)に中止を決定しました。

【決算額（既執行済み額）：8,642,628円】（事業期間：令和元年12月～令和2年3月）

4 事業所福祉共済事業

大企業と中小企業の企業内福祉の格差是正と、府内の中小企業で働く勤労者福祉の向上を図るため、各市町村共済会を加入単位としてスケールメリットを活かした大阪府事業所福祉共済事業を実施しました。

(1) 福利厚生事業

加入市共済会と意見交換を行い、会員を対象としたフィットネス施設の利用、健康管理補助、テーマパークや宿泊施設利用、展覧会の鑑賞補助等の事業を実施しています。

①福利厚生事業部会の開催

令和2年3月18日（水）

②加入者数（令和2年3月1日現在）

加入市共済会	18市共済会（19市）
事業所数	4,435事業所
会員数	37,202人

③利用補助事業利用者数

スポーツ施設	10,478人
健康管理	3,197人
宿泊施設	1,222人

（2）調整援助事業

加入市共済会の相互の連絡調整、特約利用施設の拡大の検討を行い、会員の加入促進を行っています。

①運営協議会の開催

第1回	令和元年6月7日（金）
第2回	令和2年3月18日（水）

②加入者数（令和2年3月1日現在）

加入市共済会	22市共済会（23市）
事業所数	5,987事業所
会員数	57,156人

Ⅲ 協会運営事業

1 総括的事項

（1）理事会の開催

第1回理事会

と き	令和元年6月10日（月）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告に関する件
	第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告に関する件
	第3号議案 令和元年度追加事業計画及び補正予算に関する件
	第4号議案 定時評議員会に提出する理事候補者に関する件
	第5号議案 令和元年度定時評議員会の招集に関する件

第2回理事会

と き	令和元年6月25日（火）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 理事長の選定に関する件
	第2号議案 専務理事の選定に関する件
	第3号議案 役員の報酬に関する件
	第4号議案 事務局長の任命の承認に関する件

第3回理事会（定款第35条（決議の省略）の規定に基づき開催）

提 案 日	令和元年11月7日（木）
議 案	理事選任に係る評議員会への議案の提出について
同 意 日	令和元年11月15日（金）

第4回理事会（定款第35条（決議の省略）の規定に基づき開催）

提 案 日	令和2年1月31日（金）
議 案	監事選任に係る評議員会への議案の提出について
同 意 日	令和2年2月6日（木）

第5回理事会

と き	令和2年3月25日（水）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和元年度追加事業計画及び補正予算に関する件 第2号議案 令和元年度事業計画及び当初予算に関する件
報告事項	労働センター南館事業の近況について

（2）評議員会の開催

第1回評議員会

と き	令和元年6月25日（火）
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告に関する件 第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告に関する件 第3号議案 理事の選任に関する件
報告事項（1）	第4期大阪府立労働センター指定管理者の選定結果について
報告事項（2）	労働センター南館事業の近況について
報告事項（3）	令和元年度事業計画及び収支予算について

第2回評議員会（定款第18条（決議の省略）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき開催）

提 案 日	令和元年11月19日（火）
議 案	理事の選任に関する件について
決 議 日	令和元年11月25日（月）

※本評議員会で、東憲一理事の後任として徳野尚氏（日本労働組合総連合会大阪府連合会大阪市地域協議会事務局長）が理事に選任。

第3回評議員会（定款第18条（決議の省略）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき開催）

提 案 日	令和2年2月12日（水）
議 案	監事の選任に関する件について
決 議 日	令和2年2月28日（金）

※本評議員会で、ρ多監事の後任として三木秀夫氏（弁護士）が監事に選任。

（3）監事の監査

定款第24条第1項の規定に基づき、平成30年度の決算状況の監査を実施し、監査報告を作成しました。

と き	令和元年6月3日（月）
と ころ	エル・おおさか南館7階 南75号室

(4) 中間監査の実施

令和元年度事業進捗状況並びに予算執行状況の中間監査を実施しました。

と き 令和2年1月22日（水）
と ころ エル・おおさか南館7階 南71号室

(5) 協会運営会議の開催

理事長、専務理事と幹部職員で構成する運営会議を開催し、各事業の進捗状況を分析するとともに、効果的な事業推進方策を企画・検討し事業実施に結びました。

11回開催（8月を除き毎月開催）

(6) 個人情報適正管理委員会の開催

当協会における個人情報の収集や利用方法、管理状況等の定期的なチェックを行い、個人情報の適正な取扱いと保護を図るために、各部署の個人情報保護管理責任者等で構成する「個人情報適正管理委員会」を開催しました。

第1回 令和元年7月4日（木）
第2回 令和2年2月18日（火）

(7) 衛生委員会の開催

職員の安全及び健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的に、衛生委員会を平成31年4月25日に開催しました。

毎月第4木曜日には、産業医による健康相談を実施するとともに、衛生委員会だよりを作成し、健康に関する情報を職員に周知しました。また、ストレスチェックを令和元年9月に実施するとともに、平成30年度に引き続きインフルエンザ予防接種の補助（一人当たり2,000円を上限）を行いました。（衛生委員会だよりは、令和元年度2回発行（7月、11月号））

(8) 職員研修の実施

職員の実務能力の向上やコンプライアンス意識の高揚を図るとともに、利用者サービスの充実を目的に下記の研修会をエル・おおさか会議室で実施しました。また健康と活力ある職場環境づくりと、部下のメンタルヘルス対策を目的に、管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施しました。（一部再掲）

- ・人権研修
実施日 令和元年10月8日（火）、9日（水）
午後2時～午後3時30分
テーマ 在日外国人の人権
- ・接遇マナー研修
実施日 令和元年11月15日（金）、27日（水）
午前9時45分～午前12時15分
テーマ 接遇ホスピタリティ研修
- ・管理監督者向けメンタルヘルス研修
実施日 令和2年1月30日（木）
テーマ 職場におけるメンタル不調者への対応
～受診のきっかけ作りから職場復帰支援まで～
- ・個人情報保護研修
実施日 令和2年2月25日（火）、28日（金）
午後1時30分～午後3時
テーマ 組織に求められる個人情報保護対策

※個人情報保護研修の後に、特定個人情報の取扱いに関する留意点等を職員に再度周知しました。特定個人情報の取扱業務については、平成31年4月17日（水）に情報漏

洩を想定した事故対策訓練を実施するとともに、令和元年7月17日（水）に特定個人情報等取扱規程に基づき、内部監査を実施しました。

（9）その他の取組み

①女性職員の活躍を推進する取組み

- ・平成31年3月19日（火）に大阪府「男女いきいき・元気宣言」事業者に登録されたので、「女性の能力活用」や「仕事と家庭の両立支援」など、男性も女性もいきいきと働くことのできる取組みを進めました。
- ・当協会の女性職員の活躍を推進する取組みが認められ、令和元年12月26日（木）に厚生労働省えるぼし制度の2段階目に認定されました。また、令和2年1月10日（金）に大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証制度の2段階目に、令和2年2月1日（土）に大阪府男女いきいきプラス事業者認証制度に認証されました。

②ノー残業デーの実施

職員の健康管理とワークライフバランスの充実、生産性の向上等を目的に、令和元年12月から、毎週水曜日をノー残業デーとしました。

2 労使関係団体、NPO 法人等との協力体制の推進（一部再掲）

労働者の地位、人格の向上や労働組合の健全な発展に寄与するため、（一社）大阪労働者福祉協議会との緊密な連携のもとで、ランチたいむコンサート、特別講演会を共催で実施しました。

また、「NPO 法人HELLOlife」と共同事業体を構成して OSAKA しごとフィールドの運営を行うほか、南館2階で保育所「キッズもみの木」を運営する「社会福祉法人吹田みどり福祉会」と連携し、セミナー等開催時に一時保育を広報しました。

さらに、NPO 法人大阪府民環境会議が実施する天神祭ごみゼロ運動に協力し、ボランティア説明会等の会場を提供しました。

3 エル・おおさか入居団体連絡会の開催

令和2年3月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止しました。

令和 2 年度事業報告書

一般財団法人大阪労働協会

はじめに

当協会は、これまで大阪労働大学講座等の公益目的支出計画事業である労働関係講座のほか、大阪府立労働センター（以下「エル・おおさか」）の指定管理業務、労働センター南館運営事業や勤労者福祉の事業所福祉共済事業、若年者等の就職支援を行う人材開発事業などの円滑な運営に努めてきました。

令和2年度の指定管理業務については、エル・おおさか指定管理者「共同事業体エル・プロジェクト」として第4期（令和元年度～令和5年度）の2年目の業務を実施してまいりました。令和2年1月に国内で新型コロナウイルス感染症が確認され、この感染症が拡大化し、国の緊急事態宣言等による大阪府の方針のもと、エル・おおさかの休館、定員の2分の1の利用、利用時間短縮などの感染拡大防止対策を行ってきましたが、コロナ禍の終息が不透明な中、利用料金収入は激減し、厳しい施設運営を求められ、事業の縮小を行いつつ指定管理業務を実施しました。

エル・おおさか南館については、当協会の財産として引き続き安定的な経営を図るために入居者の確保をはじめ、現入居者の要望を反映した施設の整備、維持管理費等の節減などに努めました。

また、人材開発事業では、エル・おおさか内にある総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」と府内企業の産業人材確保支援を行う「中小企業人材支援センター」の運営を一体的に行い、関係機関との相互の連携を図ることで求職者への就業支援と中小企業の人材確保支援を効果的に行ってきました。

さらに、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、経済活動が停滞し企業の倒産、廃業などにより失業者が増加傾向にあることから、新型コロナウイルス感染症感染拡大により失業した求職者を対象に求人情報をホームページ上で発信したり、求職者を新たに雇い入れ一定期間継続して雇用した法人、個人事業主に対して雇用に要する費用を支援する「大阪府雇用促進支援金」の支給にかかる審査支払い業務も実施しました。

I 公益目的支出計画事業

1 大阪労働大学講座

労働に関する法律や経済、福祉等について基礎から専門分野まで体系的に学べる実践的かつ高度な講座として、労使関係の安定、安心して働ける就業環境の実現、さらに、働き方、雇用形態の多様化に対応した労務管理を実現するために大阪府と共催で開催しました。また、後期講座においては「全世代型社会保障改革」を取り上げて、その課題・問題点を検証するシンポジウムを開催しました。

【主 催】	大阪府、（一財）大阪労働協会
【後 援】	日本労働組合総連合会大阪府連合会、（一社）大阪労働者福祉協議会、 大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会
【前期講座】	実施期間 令和2年6月9日（火）～ 令和2年9月3日（木） 午後6時30分～午後8時30分 講座回数 20回 実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール他 受講者数 個人55人、団体1 終了者数 50人（14回以上出席者） 聴講者数 延べ89人
【後期講座】	実施期間 令和2年10月14日（水）～ 令和3年1月29日（金）

午後6時30分～午後8時30分

※令和3年1月14日（木）から2月28日（日）までの間は、全ての府有施設の開館時間が短縮され午後8時までとなったため、1月14日（木）と1月29日（金）については午後8時で終了しました。

講座回数	21回（21回目（令和3年1月29日（金））に労働福祉分野のシンポジウム「全世代型社会保障改革を徹底検証する」を開催）
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール他
受講者数	個人52人、団体1
終了者数	36人（14回以上出席者）
聴講者数	延べ26人
前後期を通した修了者数	30人
【運営会議】開催日	令和3年1月18日（月） 午後2時～午後3時30分
開催場所	エル・おおさか南館7階 南72
議 題	（1）令和3年度大阪労働大学講座カリキュラム（案）について （2）その他

2 労働保険・社会保険実務講座

新しく人事労務を担当する人や興味のある人を対象に、労働保険・社会保険制度や入社から退職までの各種手続き、主な労働保険・社会保険の給付等を基礎から学ぶ講座を2回（各2日間）実施しました。

【主 催】 （一財）大阪労働協会

【後 援】 大阪府、大阪府社会保険労務士会

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門講座 I】

実 施 日 令和2年8月6日（木）、7日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 50人

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門講座 II】

実 施 日 令和2年11月19日（木）、20日（金）
午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 50人

3 労働法基礎講座

企業人事労務担当者や労働組合員を対象に、労働法の基礎の習得を目的に労働契約、就業規則、労働時間、賃金、懲戒・解雇、労働災害、非正規雇用等をテーマに、（各4日間）実施しました。

【主 催】 (一財)大阪労働協会

【後 援】 大阪府

【労働法基礎講座Ⅰ】

実 施 日 令和2年9月14日(月)、29日(火)、10月7日(水)、13日(火)
午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ177人

【労働法基礎講座Ⅱ】

実 施 日 令和3年2月2日(火)、10日(水)、18日(木)、3月3日(水)
の4日間

午後6時30分～午後8時

※緊急事態宣言による府有施設の開館時間短縮に伴い、午後8時で終了。

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ161人

Ⅱ その他事業

1 エル・おおさかの指定管理業務

当協会と大林ファシリティーズ(株)及び(株)コングレを構成員とする共同事業体「エル・プロジェクト」は、第4期のエル・おおさか指定管理者として令和2年度も大阪府立労働センター条例に定める「労働組合の健全な発展並びに労働者の教養の向上及び福祉の増進に資する」という設置目的に基づき、エル・おおさかの管理運営業務を行ってきました。

エル・おおさかの円滑な指定管理業務を実施するために、エル・プロジェクト運営委員会規則に則り、令和2年6月29日(月)及び令和3年3月31日(水)に運営委員会を開催し、令和元年度の事業報告や決算、令和3年度の事業計画、予算等について審議を行いました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い令和2年4月7日(火)に発出された緊急事態宣言による大阪府の方針に従い、令和2年4月10日(金)から5月17日(日)までの間、全館臨時休館となり、南ホールを除く会議室と駐車場は5月18日(月)から再開したものの、南ホール、エル・シアター(大ホール)、プチ・エル、ギャラリー、宴会場(集会室)は5月31日(日)まで休館となりました。その後も会議室等では収容人員の半分以上の参加人数とするという制限がかかったり、利用者による利用の自粛が相次いだため、令和2年度の利用料金収入は大幅な減収となりました。

こうしたコロナ禍の中、事業計画の見直しをして、施設の運営においては計画修繕を見送りましたが、公平・平等性は担保し、利用の維持のため、広報と利用者本位の利用者サービス、施設の維持に努めるとともに、社会貢献、地域活動を実施しました。一方自主事業においては、募集定員の見直し、事業の縮小を行いました。

その後、会議室、駐車場には一時利用回復の兆しがありましたが、この感染症の新規陽性率の上昇及び医療体制がひっ迫したことにより、令和3年1月12日(火)に再度発出された緊急事態宣言による大阪府の方針に基づき、1月14日(木)から2月28日(日)までの間の開館時間を1時間短縮し午後8時までとするとともに会議室等の収容定員についても半分以上での利用という制

限がかかったこともあり、再び利用の自粛が増加しました。

これらの緊急事態宣言下において、大阪府から新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用のキャンセルの場合は利用者からキャンセル料を徴収しない旨の依頼があり、一定の条件に基づきそのキャンセル料相当額を大阪府が負担することが示されました。これにより初めの緊急事態宣言下では約 5070 万円のキャンセル料相当額の補填を、二度目の緊急事態宣言下においてもキャンセル料相当額約 160 万円の補填を大阪府に求めました。

(1) 公平・平等な施設運営

- ▶ 利用受付開始日の申込み受付は抽選により行い、電話、FAX、電子メールは、来館者の抽選後に先着順で実施しました。
- ▶ エル・おおさかのホームページで、集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。
- ▶ 利用申込みに偽りがあると認められるときには、適切な利用申込みをしていただくよう注意喚起をしました。
- ▶ 目的利用にあたっては、目的利用を偽った料金逃れを防止するため、申込者が署名した目的利用確認書を提出していただきました。
- ▶ 利用者の公平・平等利用のため指定管理業務に従事しているスタッフを対象にした専門家による研修を実施しました。

・人権研修	実施日	令和2年12月16日（水）、17日（木） 午後2時～午後3時30分
	テーマ	公正採用のルールから学ぶ基本的人権
	参加者	43人
・高齢者・障がい者対応研修	実施日	令和2年11月24日（火）、25日（水） 午後2時～午後3時
	テーマ	心のバリアフリー
	参加者	38人
・個人情報保護研修	実施日	令和3年2月2日（火）、3日（水） 午後1時30分～午後3時
	テーマ	組織に求められる個人情報保護対策と日常業務における個人情報の取り扱いについて考える
	参加者	86人
・接遇マナー研修	実施日	令和2年10月19日（月）、11月2日（月） 午後1時30分～午後4時
	テーマ	エル・おおさか 接遇ホスピタリティ研修
	参加者	37人

- ▶ 高齢者・障がい者等が施設を利用しやすくする次の取組みを行いました。
 - ・視覚障がい者の方にも利用しやすくするため、ホームページについては音声読み上げソフトを導入しました。
 - ・（公社）大阪聴力障害者協会と連携して手話通訳、文字通訳の紹介を行うとともに、案内チラシを受付に配架しました。
 - ・聴力障がい者の方に対して筆談ボード（kakipon）を利用して筆談による受付を行いました。
 - ・館内に車椅子を5台備え、常に整備して必要とされる方に貸出を行いました。
 - ・障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト

ト」が負担するサービスを実施しました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日実績 11件、14,112円)

- ・指定管理業務に従事するスタッフは、「サービス介助基礎検定」の資格を取得し、資格保有者として適切に対応しました。
- ▶ 利用者によるモニタリングの実施
 - ・リピーターの会議室利用者2団体、エル・シアター（大ホール）2団体、プチ・エル、ギャラリー各1団体にモニターになっていただき、施設運営についての改善点や要望事項等についてモニタリングを実施しました。
- ▶ 外部有識者及び利用者で構成する外部評価委員会を開催し、エル・おおさかの管理運営に関する意見・要望をいただき、この意見・要望は施設運営に反映しました。

開催日 令和2年9月3日（木）

（2）利用の増加を図る取組み

①広報・PR活動

- ▶ エル・おおさかのロゴを使用した広報・PR
令和元年度に制定したエル・おおさかのロゴをチラシや印刷物等に使用し、エル・おおさかのPRを行いました。
- ▶ ホームページの随時更新
令和2年1月にリニューアルしたホームページについては、さまざまなニーズに対応するように随時修正・更新して利用しやすくしました。
 - ・エル・シアター（大ホール）や主要な会議室を360度見渡せる動画等を引き続き掲載しました。
 - ・視覚障がい者の方のために、音声読み上げソフトで対応しました。（再掲）
 - ・室料、貸出備品等の利用料金の合計が確認できる簡易見積りシステムを提供しました。
- ▶ 認知度向上に繋げるためにカラー化した「エルちゃん☆通信」による広報
令和元年10月号からカラー化した毎月発行の広報紙「エルちゃん☆通信」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による休館のため5月号は休刊しましたが、各種講座やセミナーをはじめ、エル・シアター（大ホール）、プチ・エル、ギャラリーの催しを掲載し、大阪府内の団体や関係機関、公共施設に配架しました。
- ▶ 積極的な情報発信、広いエリアへの広報の実施
 - ・(株)コングレが運営する施設へエル・おおさかのチラシ等の配架を行い、利用促進を図りました。
 - ・「第2回わくわく子どもフェスティバル」を(株)コングレと共催で開催し、エル・おおさかの認知度を高めました。

実施日 令和2年11月3日（火・祝） 午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか本館10階 竹・梅・寿の間

対象者 小学生と保護者

参加者数 子ども18人、保護者13人

参加費 一家族あたり500円

- ・エル・おおさか公式Facebookに各種事業やイベント等の情報を提供しました。
- ・メールマガジンを毎月登録者に配信し各種事業等を提供しました。（登録者数:959人）
- ・ホームページで集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。（再掲）

- ・「会議室ドットコム」にエル・おおさかを登録掲載し、エル・おおさかが安くて便利で使いやすい施設であることをアピールしました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日閲覧実績：2,883件)

- ・京阪「天満橋駅」総合案内のタッチ式デジタルサイネージにエル・おおさかを掲出し、「天満橋駅」からエル・おおさかまでのアクセス表示を行うとともに、施設のPRを行いました。

②ソフト面の取り組み

- ▶ エル・おおさか近隣のコインパーキングでは「平日」と「土日祝」の駐車場料金に差を設けていることから、エル・おおさかでも令和元年10月1日(火)から日曜日の最大料金を2,400円から1,500円に引き下げました。令和2年8月1日(土)からはコロナ禍で公共交通機関の利用を避け、自動車で移動するケースが増えていることなどから、土曜日・祝日の最大料金も日曜日と同じ1,500円に引き下げました。また、平日の最大料金を令和2年12月末まで期間限定で2,400円から2,000円に引き下げましたが、新型コロナウイルス感染症の新規陽性率の上昇等により令和3年3月31日(水)まで延長して利便を図りました。

- ▶ 新規利用者の開拓と利用者の確保

- ・プチ・エル利用者のポイント制度(メンバーズカード)を継続し、1区分の利用に1ポイントを付与して、5ポイントで平日午前練習利用相当額を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担して利用者に提供しました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日実績：13件、122,200円)

- ・ギャラリー既利用者から新規利用者の紹介の場合、双方の利用者の利用料金を20%共同事業体「エル・プロジェクト」が負担する利用者紹介サービスを継続実施しました。

- ▶ 近隣の自治会・管理組合がエル・おおさかを利用するときは、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日実績 22件、51,736円)

- ▶ 集会室の利用増加を図るため、松の間の他に竹の間についても、令和2年12月から机、椅子を常設し、45名定員の会議室として供用を開始しました。また、この2室を一つの会議室にして利用できるようにレイアウトの変更をしました。
- ▶ イメージキャラクターの「エルちゃん」を配した卓上カレンダーやうちわの販促グッズを作成し、利用者へ配布し施設のPRを行い、令和2年12月には、近隣の会社等へ卓上カレンダーを持参し会議室等の利用を促す営業活動も実施しました。

(実績：250社(団体))

- ▶ コロナ禍の中、利用が見込める企業・団体へ施設のリーフレットの送付等

- ・大阪管工機材商業協同組合にリーフレットとうちわ等を持参して利用の依頼をしました。
- ・施設利用者に、非接触型体温計の貸し出し、会議室の演台に透明パーテーションの取付け、有線LAN回線設置を記載したDMを送付しました。
- ・ギャラリー利用者に対し、利用の後には礼状を送付し、次の利用の案内を行いました。

- ▶ 利用者増加を図るイベントの開催

- ・本館地下1階のレッスンスタジオ「プチ・エル」の周知と利用促進に繋げていくために後述のランチたいむコンサートと同様に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催でナイトコンサートを開催しました。

実施日 令和2年10月9日(金)

テーマ 心あたたまる、ヴァイオリンとピアノの調べ

鑑賞者数 35 人
参加費 500 円

- ・プチ・エルのスタインウェイピアノの試弾会を 10 組限定で開催しました。
本館地下 1 階レッスンスタジオ「プチ・エル」に設置しているスタインウェイ（D274）の試し弾きとして参加者を募り、これまでスタインウェイピアノを弾いたことがない方にその魅力を伝えとともに、プチ・エルの周知を図ることを目的に実施しました。

実施日 令和 2 年 9 月 19 日（土）
参加費 50 分 1,000 円

- ▶ 夜間時間帯の利用向上のための取組みを行いました。
 - ・会員制自習室サービスの提供
自習を希望する方を登録し、登録した会員に対して、共同事業体「エル・プロジェクト」が夜間の利用のない会議室を借上げ、自習室として無料提供しました。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月 5 日（木）から 5 月 31 日（日）までサービスを中止しました。また、令和 3 年 1 月 14 日（木）から 2 月 28 日（日）まで府有施設の開館時間短縮に伴い、自習室を午後 7 時 45 分（通常は午後 8 時 30 分）までとしました。（令和 3 年 3 月 31 日現在登録者数：736 人）
 - ・夜間利用者対象のポイントカードの導入
夜間利用者にポイントカードを発行して、1 区分の利用について 1 ポイントを付与し、10 ポイント貯まれば、次回の利用についてこれまでにポイントを付与した一番安い会議室の利用相当額を利用者に提供し、その利用料金は共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。
（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日実績：8 件、49,280 円）
 - ・夜間ブレイクタイムサービスの実施
夜間利用者に対して、近隣の飲食店 2 店舗と提携して、当該飲食店の割引券を提供しました。（令和 2 年 10 月 12 日～令和 2 年 12 月末実績：2 件）
 - ・会議室夜間利用の直前予約サービス
利用日の 3 日前以降の直前の利用申込みがあった場合には、利用料金の 20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。
（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日実績：12 件、13,840 円）
 - ・障がい者支援事業所の夜間利用サービス（再掲）
障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の 20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。
- ▶ 事業や施設の効率的、効果的な広報を行うため共同事業体「エル・プロジェクト」において「広報・PRに関する検討会」を開催しました。（8 月を除く毎月開催）

（3）サービスの向上を図るための取組み

①施設運営の取組み

- ▶ 利用申込の受付方法の多様化を図り、窓口、FAX だけでなく、申込書を PDF 化してメールによる利用受付を行いました。
- ▶ 会議室・プチ・エル利用の際の準備・後片付けの時間として、利用時間区分の 30 分前から鍵を貸し出すサービスと、後の利用に支障のない範囲で最大 15 分間を後片付けの時間として利用者に提供するサービスを引き続き実施しました。

- ▶ エル・シアター（大ホール）利用の際の、利用時間区分の前後に利用がない場合に1時間の延長を行えるようにして、より利用しやすい施設づくりを行いました。
- ▶ 集会室利用の際には、会議室や宴会場として利用するにあたり、机・椅子の設置、撤収に要する時間として利用時間の前後1時間を利用者に提供しました。
- ▶ 利用等により施設見学ができない場合に、施設の写真等を取り込んだタブレット端末を活用して施設を把握していただきました。
- ▶ コロナ禍のなか、共用部に手指消毒用のアルコールを設置し、施設利用者には非接触型体温計を無料で貸し出し、演台を設置しているすべての会議室には演台用透明パーテーションの取付けを行い、安心して利用できる環境を提供しました。また、グループワークやグループディスカッション、面接での利用の時に使用できる会議机用のパーテーションは有料で貸し出しました。
- ▶ 毎月1日の利用受付開始日の抽選等の待ち時間に、ペットボトルのお茶やエルちゃんグッズを抽選参加者に提供しました。また、令和3年1月4日（月）の利用開始日の抽選時には福袋（マスク、使い捨てカイロ、除菌ウェットシート、お菓子、卓上カレンダー等）を利用者に提供しました。

②サービス向上のために実施する自主事業

- ▶ 勤労者の知識向上やスキルアップ等を図るために次の事業を実施しました。
 - ・大阪労働大学講座（再掲）
 - ・労働保険・社会保険実務講座（再掲）
 - ・労働法基礎講座（再掲）
 - ・職場のメンタルヘルス実践研修セミナー

事業所等の人事担当者やメンタルヘルスに関心のある府民を対象に、コロナ禍におけるメンタルヘルスについて専門家の講義を受け、職場にフィードバックできる実践的な研修を開催しました。

実 施 日	令和2年10月15日（木） 午後1時30分～午後4時50分
実施場所	エル・おおさか南館5階 南ホール
テ ー マ	コロナ禍のメンタルヘルス
受講者数	51人
受 講 料	1,000円
- ・トークイベント

新型コロナウイルス感染症拡大により採用状況や雇用情勢が一段と厳しくなる中で府民へエールを贈るトークイベントを人材開発部と連携して開催を予定していましたが、令和2年度の開催は中止しました。
- ・スキルアップセミナー

ジョブスキルを高める講座を、OSAKA しごとフィールドと連携して開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。
- ・資産形成セミナー「働く世代のためのマネー講座」

お金に関する知識と判断力を身につける基礎的な講座を大阪府金融広報委員会の協力により開催しました。

実 施 日	令和2年12月4日（金）、11日（金）、18日（金）
	午後6時30分～午後8時

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ89人

▶ 第2回わくわく子どもフェスティバル (株)コングレとの共催事業 (再掲)

▶ 勤労者をはじめ広く府民の教養の向上を図る事業

・なにわ美術展

大阪府内の勤労者や府民が余暇を活用して制作した絵画の公募展を、(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としました。

・ランチたいむコンサート

エル・おおさかの利用者や近隣の勤労者が音楽に触れる機会を提供するとともに、エル・おおさかをより身近な施設に感じてもらうことを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で実施しました。

実施日 毎月第3月曜日

(9月は祝日の連休のため翌々日の水曜日に開催。4月、5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止によりエル・おおさかが臨時休館となったため開催中止)

午後0時10分～午後0時50分

実施場所 エル・おおさか本館10階 梅・寿の間

観賞者数 延べ501人(令和2年6月～令和3年3月)

・プチ・エル ナイトコンサート (再掲)

・スタインウェイピアノ試弾会 (再掲)

・特別講演会

評論家や文化人、作家等著名な講師を招いて、勤労者や府民の教養の向上に資することを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で開催する特別講演会を新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により令和元年度は中止し、令和2年度に延期開催しました。

実施日 令和2年11月6日(金)

午後6時30分～午後8時

実施場所 エル・おおさか本館 エル・シアター(大ホール)

テーマ 読むこと、生きること～『私の本棚』をめぐる～

講師 中江 有里

参加者 187人

・歴史セミナー

勤労者や府民等に歴史や文化に親しみを感じてもらい、教養を深めてもらうことを目的に、歴史検証の第一人者を講師として迎え、古代や中世を題材にして開催しています。令和2年度は、令和元年度の3月実施分を中止した講座の延期分と、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、年間1期(10月～3月の6回実施)のみの開催としました。

【令和元年度延期講座】

実施日 令和2年9月7日(月)

午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

テーマ 平城京とその時代 ～都をむすぶ道・人・寺～

「シルクロードの終着点」
参加者 51人

【今期講座】

テーマ 近畿弥生社会の創見 ～変貌する畿内の実像をさぐる～
実施日 令和2年10月13日（火）～令和3年3月22日（月）
毎月1回
午後2時～午後3時30分
実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室
受講者数 延べ333人

・文化芸術サロン

勤労者や府民等に文化に親しんでいただくとともに、教養を深めてもらうことを目的に、文化の伝播や古典文学等興味深いテーマを取上げて開催し、施設の周知を図りました。

第1回 テーマ 古代日本と大陸の文化交流の変遷を学ぶ
実施日 令和2年9月1日（火）、15日（火）、30日（水）
午後2時～午後3時30分
実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
受講者数 延べ196人
第2回 講師の意向により延期。令和3年度に実施予定。
テーマ 萬葉集 名もなき人びとに思いを寄せて

③サービス向上を図るための委員会等の設置

- ▶ 外部評価委員会の設置及び開催（再掲）
- ▶ モニタリングの実施（再掲）
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置

次の委員会等を設置して利用者サービスの向上に努めました。

・事業進捗・検証委員会（毎月開催）

提案した項目の進捗の確認と満足度を得ているか検証を行いました。

開催日 8月を除く毎月第2金曜日

・共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会

- ・個人情報の適正な取扱いについて検証するため個人情報の取扱いに関する覚書に基づき、共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会を開催し、全スタッフが問題意識を持って個人情報の適正管理に取り組むよう指導・監督を行いました。

開催日 令和2年10月27日（火）

- ・令和3年2月11日（木）に郵送での誤送付が判明し、その防止を図るため同委員会を開催しました。

開催日 令和3年2月25日（木）

・スタッフ情報交換会議

各部門の担当者が日ごろ気づいた事柄や利用者の意見要望等の意見交換を行い、利用者サービスの向上に努めました。

開催日 8月を除く毎月第2木曜日

④サービス向上を図るためのその他の取組み

- ▶ 利用者満足度調査の実施
エル・おおさか利用者を対象に年1回（2～3月）満足度調査を実施し、利用者の意見やニーズを把握して施設運営に反映させ、この結果についてはホームページに掲載しました。
- ▶ 月極めコインロッカーの設置
本館1階にコインロッカーを設置し、定期的な利用者の利便を図りました。
- ▶ 高機能コピー機の設置
本館1階にワークステーションを設け、カラーコピーやパソコンからの出力サービスも可能な高機能コピー機を設置し、利用者の利便を図りました。
- ▶ 「+v o i c e」（意見箱）の設置
意見箱を公の施設のフロアに設置して、施設利用者から寄せられた要望等については速やかに回答を検討作成し、ホームページへの掲載と館内に掲出するとともに、施設運営に反映しました。
- ▶ 館内巡回および定期点検の実施
スタッフが毎日館内巡回を行い、現状を把握するとともに定期点検を毎月実施し利用快適な利用環境を提供しました。
- ▶ 高齢者・障がい者対応研修の実施（再掲）
- ▶ 接遇マナー研修の実施（再掲）
- ▶ 会員制自習室の運営（再掲）

（４） 利用増加・サービス向上の取組みの検証等

- ▶ 会議室、エル・シアター（大ホール）、プチ・エル、ギャラリー専用のチラシの送付後に、送付先の利用の有無を新規利用者アンケートで検証しました。
- ▶ 自主事業のセミナー等の開催後にアンケート調査を実施し、どの広報ツールが有効か検証しました。
- ▶ 各種キャンペーンの対象者にどの広報ツールが有効か聞き取り検証しました。
- ▶ 各施設の利用件数、利用料金収入額、利用率の推移の比較により利用傾向を把握しました。
- ▶ 各種研修の効果をアンケート等で検証しました。

（５） 施設管理運営業務を実施する具体的な取組み

①災害時・緊急時に備えた取組み

- ▶ 南海トラフ地震等災害時に発生すると思われる帰宅困難者等の受入拠点となるよう、170名が3日間滞在できるように非常用食料品、保存水、ウェットティッシュ等の備蓄を引き続き行いました。
- ▶ 利用申込書のFAX送信に誤送信がないよう十分注意を払っていますが、郵送によるご送付が令和3年2月11日（木）に発生したため、大阪府に報告するとともに該当の利用者にお詫びの文書を送付しました。（再掲）
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会での協議に基づき、FAX誤送信事故対応訓練と誤送付の発生と防止を図るため、令和3年2月25日（木）に同委員会を開催しました。（再掲）
- ▶ 郵送による誤送付の後、共同事業体「エル・プロジェクト」として「個人情報の適正管理に関する取扱要綱」を策定（施行：令和3年4月1日）し、これまで以上に個人情報の適正な管

理や取扱いに努めることにしました。

- ▶ 防災訓練（年2回）、夜間等非常時対応訓練、エレベーター閉じ込め対応、不審者・急病人対応等の訓練を実施しました。

・消防訓練	実施日	令和2年10月2日（金）
・防火・防災訓練	実施日	令和2年12月15日（火）
・エレベーター閉じ込め救出訓練	実施日	令和2年10月22日（木）
・不審者等対応訓練	実施日	令和2年12月4日（金）
・急病者対応訓練	実施日	令和2年12月4日（金）
・夜間を想定した消防訓練	実施日	令和3年3月2日（火）
- ▶ 災害時に備えて救助担架、ハンドメガホン、ヘルメット、多機能ライト、救助工具等の非常用物品を引き続き配備しました。

②効果的・効率的な修繕業務

- ▶ 大林ファシリティーズ(株)による施設の修繕計画の立案・作成
 - ・施設の現状を把握した上、「利便性の向上」「美観性の向上」「安全性の向上」「省エネルギー化」の観点に基づき、修繕項目をリストアップしました。

③防災・安全対策

- ▶ 大阪ビル群管理センターによる24時間365日のバックアップ
- ・大林ファシリティーズ(株)が運営する大阪ビル群管理センターに遠隔監視システムを導入し、24時間・365日、常時遠隔監視を行いました。
- ・エル・おおさかから約100mの位置にある同センターには24時間体制で設備技術員が常駐しており、夜間の異常発生時にも対応しました。

（6）施設改修工事

令和2年度の共同事業体「エル・プロジェクト」として実施する施設改修工事については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための休館等による利用の減少のため、計画修繕は次年度以降に先送りする等して、施設維持管理上緊急性を有するもの及び新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図るものを実施しました。

- ▶ 施設維持管理上緊急性を有するために実施した工事等
 - ・本館冷却水総合水処理剤の購入
 - ・本館空調機用フィルタの取替
 - ・本館3階男子トイレ洗面排水トラップ更新
 - ・本館E Vホール総合案内サイン変更
 - ・本館消防設備改修
 - ・本館連結送水管配管耐圧試験
 - ・本館トイレ用便座除菌クリーナーの購入
 - ・本館エル・シアター（大ホール）舞台床塗装
 - ・本館パーキングシステム出入口バー交換作業
 - ・AED電極交換用パッドの購入
 - ・本館駐車場案内版製作
 - ・本館飲料水消毒用薬品の購入
 - ・本館10階宴会場用スピーカーの更新
 - ・本館駐車場磁気駐車券の購入

- ・本館地下1階女子トイレ内装工事

▶ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために実施

- ・消毒用アルコールの購入
- ・フェイスシールドの購入
- ・ビニールカーテンの購入
- ・除菌用ウェットティッシュペーパーの購入
- ・非接触型体温計の購入
- ・トイレ用ペーパータオルの購入
- ・演台用パーテーションの購入
- ・会議机用パーテーションの購入

(7) 施設の利用状況

【令和2年4月～令和3年3月】

区 分	利用件数	利用人数	利用料金収入
会議室	7,982 件	353,611 人	131,680,040 円
エル・シアター (大ホール)	78 件	51,704 人	14,817,700 円
プチ・エル	195 件	12,960 人	3,275,210 円
ギャラリー	115 日	—	3,324,390 円
集会室	128 件	8,860 人	4,940,660 円
計	8,498 件	427,135 人	158,038,000 円
駐車場	17,678 台	—	17,984,500 円
収入合計	—	—	176,022,500 円

(8) 大阪府への納付金額

コロナ禍の中、事業計画の見直しをして、施設の運営においては計画修繕を見送りましたが、公平・平等性は担保し、利用の維持のため、広報と利用者本位の利用者サービス、施設の維持に努め、自主事業においては募集定員を見直し事業の縮小を行い、指定管理者募集の応募時に提案した3,710万円を予定通り納付しました。

(9) 大阪府の補填

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い緊急事態宣言による大阪府の方針に従い、令和2年4月10日（金）から5月31日（日）まで全館臨時休館（南ホールを除く会議室と駐車場については、5月18日（月）から再開）や利用者による利用の自粛が相次ぎ、また1月14日（木）から2月28日（日）までの間の開館時間を1時間短縮し午後8時までとするとともに会議室等の収容定員についても半分以上での利用となったため、再び利用の自粛が増加しました。これらの緊急事態宣言下において、大阪府から新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用のキャンセルの場合は利用者からキャンセル料を徴収しない旨の依頼があり、一定の条件に基づきそのキャンセル料相当額を大阪府が負担することが示されました。これにより二度にわたる緊急事態宣言下でのキャンセル料相当額を大阪府から補填していただく協議を行い、5232万6366円を請求しました。

(10) 府の施策・社会貢献等への取組みについて

①行政の福祉化への取組み

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」を構成する各団体の障害者雇用率を達成しました。
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」を構成する各団体は就職困難者を雇用しました。

②社会貢献・地域活動

▶ 献血活動への協力

日本赤十字社に献血車の配車を依頼し、令和2年11月4日（水）に入居団体や来館者、近隣の会社等に献血を呼びかけ献血活動に協力しました。（献血者：9名）

- ▶ 大阪府共同募金会と連携してNHK 歳末たすけあい等に協力し、令和2年12月1日（火）から同年12月25日（金）までエル・おおさか本館1階に募金箱を設置しました。（募金額：6,107円）

- ▶ エル・おおさかが所在する北大江地区のまちづくり実行委員会と地域内各店舗が手作りで開催する「たそがれコンサート」の広報に協力しました。これまで練習場所等を提供していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため屋外コンサートが中止となり、練習場所等の提供は行いませんでした。

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」の職員が中心となり、エル・おおさか周辺の清掃活動を毎月実施しています。（4・5月中止）

- ▶ 地域貢献の一環として、エル・おおさか近隣の自治会やマンションの管理組合が利用する際には、共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金の20%を負担しました。（再掲）

③府民・NPO等との協働事業

- ▶ 子育て中の府民等が、共同事業体「エル・プロジェクト」が開催する特別講演会や歴史セミナー、文化芸術サロンに参加しやすいよう無料で一時保育を行えるように、NPO 法人女性と子育て支援グループ・pokkapoka と連携しました。

- ▶ エコキャップ運動への参画

NPO 法人エコキャップ推進協議会が実施するエコキャップ運動に参画しました。

④環境問題への取組み

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」のうち、（一財）大阪労働協会と㈱コングレは「関西エコオフィス宣言」事業所に登録しており、適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル、ゴミの再資源化等の取組みを実施しました。

- ▶ 照明のLED化を進め、年間消費電力量及びCO2排出量の削減に努めました。

- ▶ 雨天時には、エコの観点から傘袋を廃止し、しずくを落とせる装置を本館、南館の出入口に引き続き設置しました。

- ▶ 施設内でのゴミを減らすため、ゴミ箱を撤去して、利用者にゴミの持ち帰りをお願いし、ゴミの減量化、分別を継続実施し、大阪市から令和2年度のごみ減量優良建築物の決定通知を受けました。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため令和2年5月18日（月）からトイレにペーパータオルを設置しゴミ箱を置きましたが、令和2年12月末をもって設置を終了しました。

2 労働センター南館運営事業

労働センター（エル・おおさか）南館については、借地権信託事業が終了し、平成 26 年 4 月から、労働協会が建物所有者として運営を行い、令和 2 年度においても、協会、大阪府、りそな銀行で構成する「南館三者懇談会」を開催し、大阪府との府有地の賃貸借契約に則り、円滑かつ効率的な運営とりそな銀行への残債の着実な返済に努めました。

また、平成 28 年度に策定し、令和元年度に修繕項目や実施時期の見直しを行った「長期修繕計画」については、令和 2 年度も、建築、設備に係る改修工事を着実に実施し、入居者に安全で快適な執務環境の提供と建物の資産価値の維持向上を図りました。

1. 入居率 98.45%（令和 3 年 3 月 31 日現在）
2. 「南館三者懇談会」の開催
 - [第 1 回] 開催日 令和 2 年 9 月 24 日（木）
場 所 エル・おおさか本館 5 階 研修室 3
議 題 ①令和 2 年 9 月 1 日現在の入居状況について
②労働センター南館 長期修繕計画の実施状況について
③令和元年度決算報告について
④令和 2 年度執行見込について
⑤意見交換
 - [第 2 回] 開催日 令和 3 年 2 月 17 日（水）
場 所 エル・おおさか南館 10 階 南 101
議 題 ①令和 3 年 2 月 17 日現在の入居状況について
②労働センター南館長期修繕計画の実施状況について
③令和 2 年度収支見込及び返済額について
④意見交換

3 人材開発事業

令和 2 年度の人材開発事業では、委託事業 19 件を受託し、このうち 14 件は国及び地方自治体から受託しました。他 5 件は各種機関並びに大学等民間から受託しました。また自主事業として企業向けセミナーの講師派遣事業を実施しました。年度当初に計画していました 2 件の受託事業と、自主事業である合同企業説明会「OSAKA ジョブフェア」については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。

事業の傾向は、平成 27 年以降売り手市場へ転じたことから人材不足の対策を目的とした事業が多く、企業の人材確保や多様な人材を企業の労働力とする事業が中心でした。しかし、令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大により、売り手市場は一変し、労働市場は大きく冷え込む状況となったことにより、事業開始以降に事業内容を変更するなどの影響を受けました。また、事業実施方法もこれまでのような対面式のリアル開催から、WEB システムを介した非対面式のリモート開催が主体となりました。

その結果、一定期間事業がストップし、その後も来場者の人数制限や広報手法の変更などにより目標達成に大きく影響を受けており、例年のような実績が上がらない結果となりました。しかしながら、通常の事業運営が困難になったことで、「非対面イベント」や「オンラインセミナー」などを効果的に実施する新たな WEB システムの導入や、アーカイブ化したセミナーを効果的に編集するなどを行ったことで、コンテンツの魅力化など、制限下でも効果的な事業運営を図りました。

(1) さかいJOBステーション事業運営業務**(堺市受託事業)**

堺市が設置している「さかいJOBステーション」及び「JOBステーション南サテライト」の各拠点の管理運営、並びに「JOBカフェSAKAI」、「女性しごとプラザ」及び「企業人材マッチング支援プラザ」の各事業の運営を行いました。39歳までの若者と全年齢の女性を対象に総合的に就業を支援すること、及び人材確保が困難な市内中小企業等へのマッチング機会を併せて行い、堺市内における雇用の安定化を進めました。

【決算額：令和2年度 95,811,672円】（事業期間：平成31年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
来訪者数	11,000人	6,847人（62%）
新規登録者数	2,200人	1,876人（85%）
就職決定者数	1,600人	1,550人（97%）
求人企業情報件数	500件	622件（124%）

(2) OSAKAしごとフィールド運営委託事業**(大阪府受託事業)**

大阪府では、平成25年9月に総合就業支援施設「OSAKAしごとフィールド」を設置し、若者、女性、中高年齢者、障がい者等の就業を支援するとともに、中小企業の人材確保に取り組んできました。

平成29年度からNPO法人HELLOlifeと共同企業体を構成し運営しています。本事業は、令和2年6月から開始する「OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務」開始までのつなぎ事業として実施しました。

【決算額：7,280,285円】（事業期間：平成2年4月～令和2年5月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	1,900人	636人（33%）
セミナー開催数	45回	12回（27%）

(3) OSAKAしごとフィールド 中小企業の人材確保支援事業**(大阪府受託事業)**

大阪府の企業が人材を確保するには、求職者にとって魅力ある企業となり、かつそれを求職者に適切な方法で訴えかけることが重要となっています。人材不足の状態にある「製造」「運輸」「建設」の3分野とインバウンド関連を含めた37分野を中心に、業界のイメージアップや、働く職場環境の整備等をすすめる、企業の人材確保の推進を行いました。また、大阪府では平成28年度から開始

した企業主導型保育推進業務についても本事業内で実施しました。

本事業は、令和2年6月から開始する「OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務」開始までのつなぎ事業として実施しました。

【決算額：11,550,877円】（事業期間：令和2年4月～令和2年5月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
企業向けセミナー	4回	1回（25%）
企業主導型保育セミナー	1回	1回（100%）
企業診断受診企業数	500社	46社（9%）

（4）OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務

（大阪府受託事業）

総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」と、府内企業の産業人材確保支援を行う「中小企業人材支援センター」を設置し、一体的に運営を行い、関係機関と相互に連携して効果の最大化を図りつつ、常に研究、評価、修正を繰り返しながら、本業務を実施しました。なお、本業務は支援の内容に応じて国の財源を最大限活用することとしたため、財源の区分により以下のA～Fの委託業務に役割分担しています。事業運営にあたり、大阪労働協会が代表構成員として事業統括を行い、NPO法人HELLOlife、公益財団法人大阪産業局、株式会社パソナが構成員として事業運営を担いました。しかしながら、個々の支援を切り離して実施するのは困難であり、相互に連携・補完することにより、一体となって高い事業効果を発揮することをめざし運営しました。

A. 就職困難者就業支援業務

（事業期間：令和2年6月～令和5年3月）

- ・財 源：大阪府単独事業
- ・主な役割：就職困難者に対する就業支援と、企業の人材確保支援を行いました。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO法人HELLOlife、株式会社パソナ

B. 大阪の成長実現に向けた公民協働人材確保推進業務

（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

- ・財 源：厚生労働省地域活性化雇用創造プロジェクト事業（国庫8/10）
- ・主な役割：「製造関連」「運輸関連」「建設関連」「インバウンド関連」の37業種への正社員就職を実施しました。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO法人HELLOlife、株式会社パソナ

C. 潜在求職者活躍支援プロジェクト業務

（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫1/2）
- ・主な役割：潜在的な求職者の掘り起こしと、企業とのマッチングを行いました。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO法人HELLOlife

D1. 中核人材雇用戦略デスク業務

（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫 1 / 2）
- ・主な役割：府内中堅・中小企業に対し、中核人材の確保支援を行いました。
- ・主な担当：公益財団法人大阪産業局

D 2. 中核人材雇用戦略デスク体制拡充業務

（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫 10/10）
- ・主な役割：府内中堅・中小企業に対し、中核人材の確保支援を行いました。
- ・主な担当：公益財団法人大阪産業局

E. 高校生地域就職促進業務

（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

- ・財 源：地方創生推進交付金事業（国庫 1 / 2）
- ・主な役割：中堅・中小企業の魅力を高校生に伝え、将来の人材確保に寄与しました。
- ・主な担当：大阪労働協会

F. 企業主導型保育事業推進業務

（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

- ・財 源：内閣府企業主導型保育推進事業（国庫 10/10）
- ・主な役割：「企業主導型保育施設」の設置を推進し、本施設を活用した人材の確保・定着の支援を行いました。
- ・主な担当：大阪労働協会

【決算額：令和 2 年度 296,438,218 円】

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	14,000 人	10,340 人 （74%）
就職決定者数	8,000 人	3,186 人 （40%）
相談対応企業数	500 社	1,147 社 （229%）
人材確保企業数	300 社	252 社 （84%）

（5）京都ジョブパーク事業「移住人材確保支援業務」

（京都府受託事業）

京都府内の企業の人材不足等に対応するため、主に首都圏・近畿圏をはじめ全国の都市部に在住する者の京都府への還流及び京都府内南部地域在住者の京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の行政区域）への還流を図ることを目的とし、カウンセリングやセミナーなど UIJ ターン就職を希望する求職者への就職支援を行いました。さらに、人材確保に課題を有する京都府内企業の求人開拓や、求める人物像の発信等による人材確保支援について、京都府が実施する無料職業紹介権を最大限に活用することで一元的にマッチングすることにより効果的な支援を行いました。

【決算額：29,286,309 円】（事業期間：令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	2,700 人	2,840 人（105%）
就職内定者数	1,200 人	1,240 人（103%）
移住支援金に基づく就職者数	30 人	1 人（3%）
京都府無料職業紹介内定数	30 人	13 人（43%）

（6）京都ジョブパーク事業「大学生・留学生支援業務」

（京都府受託事業）

京都ジョブパークにおける「学生就職センター」並びに「京の留学生支援センター」の運営を通じて、高校生、専修学校生、大学生、大学院生、短期大学生及び外国人留学生に対して、京都ジョブパークの基本方針等に基づき、キャリアカウンセリング及び京都ジョブパークの支援メニュー等を活用し、支援を行うことにより、一人ひとりの成長段階に応じたキャリア形成から就職の早期実現、定着の促進を図るため実施しました。

【決算額：11,490,842 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数（大学生等）	4,320 人	2,544 人（59%）
新規登録者数（外国人留学生）	840 人	841 人（100%）
就職内定者数（大学生等）	2,000 人	1,205 人（60%）
就職内定者数（外国人留学生）	400 人	294 人（74%）

（7）令和2年度 学生地域就職推進業務

（大阪府受託事業）

大阪府では、東京圏への人材流出の抑制と企業の人材確保による大阪経済の活性化を実現するため、府内大学生と府内企業との接点を創出する学生地域就職推進業務を実施しています。大学低学年次から積極的に学生と企業との接点を創出し、府内企業への就職意欲を向上させマッチングにつなげることで、府内中堅・中小企業の人材確保を図りました。また、内定者同士の交流の場を設けることで、府内企業への定着を支援しました。これらの業務により、若年層における東京圏への人材流出の抑制をめざしました。

【決算額：8,966,834 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
企業開拓数	150 社	106 社 （71%）
参加学生数	1,860 人	2,525 人（136%）

（８）令和２年度「近畿経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」
（近畿経済産業局→オムロンエクスパートリンク株式会社再委託事業）

昨今の少子高齢化を背景に、生産年齢人口が減少し、人手不足が深刻になりつつある中、地域や中小企業等の成長・発展には、付加価値の拡大や労働生産性を向上させる多様な人材が不可欠となっています。また、近畿地域においては全国同様に若者の首都圏への流出が問題となっており、関西の大学卒業後の学生をいかに関西に引き留めるかが、大きな課題です。平成 30 年度に当事業で行った調査においても、中小企業の情報や魅力が学生に届いていないこと、企業と学生との間に意識の隔たりがあることが判明しています。

本事業では、中小企業の経営課題に即し、多様な形態（兼業・副業等）で、多様な人材（就職氷河期世代、女性、高齢者等）を確保できるよう支援しました。

近畿経済産業局管内の福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県における中小企業等を対象とし、各地域の実情を十分に認識し、地域の中小企業等の経営強化に資する人材確保支援するため、近畿管内の 8 機関によるコンソーシアムを構成して事業運営を行いました。

【決算額：28,723,500 円】（事業期間：令和 2 年 6 月～令和 3 年 3 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
地域版マッチング会	1 回	1 回（100%）
氷河期版マッチング会	1 回	1 回（100%）
広域版マッチング会	1 回	1 回（100%）
事業全体における企業満足度	80%	65% （81%）

（９）企業等の女性活躍推進に向けた認証及び啓発・支援事業（大阪市受託事業）

大阪市では平成 26 年度から、法令の遵守に留まらず、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業等を一定の基準に則り認証し、当該の企業等が社会的に認知されることでその取組みが広く普及することを目的として、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証を実施しています。令和 2 年度も引き続き、中小企業等に対する女性活躍の重要性の理解を促すアウトリーチによる啓発、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」及び「チャレンジ企業」の認証・支援、認証企業を対象とした先進事例の紹介や企業間情報交換等の機会の提供、大学生等が女性活躍に対する関心を高めるための事業を実施しました。

【決算額：20,084,700 円】（事業期間：令和2年7月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
アウトリーチによる啓発企業数	1,500 社	1,596 社（106%）
取組支援企業数	150 社	220 社（147%）
一つ星認証・二つ星認証	80 社	82 社（103%）

(10) 令和2年度「地域中小企業人材確保支援等事業（中核人材確保支援能力向上事業）」

（中小企業庁受託事業）

生産年齢人口が減少する中、人手不足は恒常化する問題となっています。中小企業では、経営者の高齢化に伴う事業承継の問題を含め、経営課題の上位に「人材の不足」が挙げられており、特に成長・拡大を志向する中小企業では、企業の持続的成長・発展や地域活性化に必要な付加価値創出を担う「中核人材」確保を戦略的に進めていくことが必要であり、経営支援機関等による経営支援～人材発掘支援～フォローアップのシームレスな支援が望まれています。

これまで、経営支援機関と人材支援機関の連携による中核人材確保スキームの実証を行ってきたところであり、こうした取組みがより広域かつ大規模に、面的に広がることを目的として、地域において複数の経営支援機関等による「地域ネットワーク」を形成し、経営支援機関等が個別あるいは連携して、効率的かつ効果的に中小企業の経営課題の明確化から人材確保までの支援を行いました。

【決算額：18,999,156 円】（事業期間：令和2年9月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
地域ネットワーク参画機関	14 機関	22 機関（157%）
支援人数	100 人	101 人（101%）

(11) OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務

G業務：コロナ禍における早期再就職支援業務

（大阪府受託事業）

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により企業の廃業や倒産等、事業主都合で離職を余儀なくされる従業員を対象に、人材不足分野への労働移動に必要なスキルアップを行うとともに、離職により生活面に影響が出ている方等も含め、早期再就職が必要な求職者への支援を行いました。本事業は「OSAKAしごとフィールド」における総合就業支援業務の追加事業として実施しました。

【決算額：163,600,303 円】（事業期間：令和2年11月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
支援求職者数	3,000 人	3,464 人（115%）
求人開拓件数	3,000 件	3,372 件（112%）
オンラインセミナー	55 本	58 本（105%）
有償職場体験	100 人	102 人（102%）

(12) コロナ禍における民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策事業に係る求職者支援
及び支援金支給業務 （大阪府受託事業）

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により経済活動が停滞する中で、企業の倒産や廃業などにより失業者が増加する傾向にあります。失業期間の長期化を防ぐためにも、求職者の就職に向けた支援を行うとともに、企業における採用意欲の向上を図ることが必要となっています。

求職者の早期就職を実現するため、民間人材サービス事業者と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により失業した求職者を対象とした求人を取りまとめてホームページ上で発信するとともに、求職者を新たに雇い入れ、一定期間継続して雇用した法人又は個人事業主に対し、雇用に要する費用を支援する「大阪府雇用促進支援金」を支給します。求職者への効果的な就職支援を行い、支援金の支給に係る事務処理を迅速かつ円滑に進めるため、求職者に対する求人情報を発信するホームページの構築や相談対応、支援金の支給に係る審査、支払い等に係る業務を実施しました。

【決算額：令和2年度 134,236,000 円】（事業期間：令和2年10月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
支援金支給数	5,000 件	581 件（12%）
ホームページ利用者数	20,000 人	334,987 人（1,675%）

(13) 企業主導型保育事業利用促進等業務 （大阪府受託事業）

就業希望の子育て世代を対象に、企業主導型保育施設の利用促進及び周知を目的としたイベントを開催（年1回実施）し、他団体の実施する子育て世代が参加する研修、セミナー等において、周知活動を行うことによって、企業主導型保育事業の一般府民への周知を図り、定員の充足率向上のための支援をすることを目的として実施しました。イベントは令和3年2月6日（土）、7日（日）に実施しました。

【決算額：999,900 円】（事業期間：令和2年11月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
促進イベント	1 回	1 回（100%）
事業PR	5 回	5 回（100%）

(14) 府内企業の実態総合調査業務

(大阪府受託事業)

大阪府内企業の実態総合調査業務として、新型コロナウイルス感染症の影響把握及び今後の事業展開、コロナ後の企業活動の変容、課題について明らかにするための調査を実施しました。

【決算額：1,881,967 円】（事業期間：令和2年6月～令和3年3月）

(15) 四天王寺大学インターンシップ事業

(学校法人四天王寺学園受託事業)

四天王寺大学経営学部では、3年生全員がインターンシップを行う新メニューを新入生募集の際に掲げています。インターンシップ関連事業での実績を有する当協会が90名のインターンシップ先確保及び1週間程度の管理業務を行いました。また、事前・事後研修を行い、インターンシップを有効なものとなるよう実施しました。

【決算額：5,484,545 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
インターンシップ参加人数	90 人	89 人（99%）

(16) 関西電気管理技術者協会 5 年毎研修（一般社団法人関西電気管理技術者協会受託事業）

関西電気管理技術者協会では、会員約900名が在籍しており、その中から毎年180名の研修を実施しています。平成29年度から5年間を当協会に委託し、カリキュラム開発、基調講演、グループディスカッション運営等を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通常2開催のところ1開催とし、令和3年度に3開催を行うこととなりました。

【決算額：令和2年度 209,000 円】（事業期間：平成29年12月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
セミナー開催数	2 回	1 回（50%）

(17) 近畿大学カウンセラー派遣事業**(近畿大学受託事業)**

近年大学など教育現場において発達障害の学生や発達障害の可能性のある学生が増加しています。それらの学生は、就職支援段階において適正な支援が必要となっていますが、専門的な人材が不足しているのが実情となっています。

近畿大学でもこの課題は年々高まっていることから、令和元年度より引き続き当協会からカウンセラーを派遣し、学生の相談対応など就職支援を行うとともに、OSAKAしごとフィールドやさかいJOBステーションで開催されるマッチング会やセミナーとも連携を図りました。

【決算額：938,445 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

(18) 大阪府立大学工業高等専門学校学内合同企業説明会事業**(大阪府立大学工業高等専門学校受託事業)**

平成28年度から池田泉州銀行が主催者となり、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と、取引企業との出会いの機会を創出するイベントを実施しています。令和2年度は当協会が主催者となり、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、非対面によるWEB面談システムを活用したイベントを実施しました。

【決算額：5,390,000 円】（事業期間：令和2年10月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
参加企業数	80 社	98 社（123%）
参加学生数	250 人	269 人（108%）

(19) 武庫川女子大学就職準備キャリアガイダンス事業**(学校法人武庫川学院受託事業)**

武庫川女子大学ではキャリア事業の一環として外部より講師を招き、キャリアガイダンスを行っています。これまで学内で運営してきましたが、令和2年度は当協会に委託し実施しました。

【決算額：396,000 円】（事業期間：令和2年4月～令和2年8月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
ガイダンス実施数	1 回	1 回（100%）

(20) 講師派遣事業**(自主事業)**

人材開発部の職員が、商工会議所や大学等から講演依頼を受けセミナーを実施します。令和2年度は和歌山県中小企業団体中央会から企業向けセミナーの依頼を受け実施しました。

【決算額：47,240 円】（事業期間：令和2年4月～令和3年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
講演回数	2回	1回（50%）

（21）京都一体的実施事業

主に京都府外に在住する者に対して、京都府内の企業の魅力を発信し、マッチングの促進を目的に大阪市中心部において企業説明会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業中止となりました。

（22）大阪府委託訓練事業（しごと力養成）

近畿中小企業溶接事業協同組合が受託する大阪府委託訓練事業（しごと力養成＋キャリアスタート実践科建設コース・製造コース）に係る導入研修の講師業務及びカウンセリング業務を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業中止となりました。

（23）OSAKAジョブフェア開催事業

中小企業の人材確保と学生・若年求職者にとって有効なマッチング機会となり、多数の関係機関が協力するイベントとして、平成24年12月に第1回目のOSAKAジョブフェアを開催しました。これまで大阪府や近畿経済産業局からの委託事業において計9回開催し、1,200社以上1万4000人が参加する人気イベントとして確立されています。

そこで、これまでのノウハウを活かし、自主事業として開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により事業中止となりました。

4 事業所福祉共済事業

大企業と中小企業の企業内福祉の格差是正と、府内の中小企業で働く勤労者福祉の向上を図るため、各市町村共済会を加入単位としてスケールメリットを活かした大阪府事業所福祉共済事業を実施しました。

（1）調整援助事業

加入市共済会の相互の連絡調整、特約利用施設の拡大の検討を行い、会員の加入促進を行っていました。

①運営協議会の開催

第 1 回 書面により開催

（提案：令和2年5月26日（火）、同意：令和2年6月10日（水））

第 2 回 令和3年3月10日（水）13:00～15:00

②加入者数（令和3年3月1日現在）

加入市共済会 22市共済会（23市）

事業所数 5,785事業所

会員数 56,297人

(2) 福利厚生事業

加入市共済会と意見交換を行い、会員を対象としたフィットネス施設の利用、健康管理補助、テーマパークや宿泊施設利用、展覧会の観賞補助等の事業を実施しました。

①福利厚生部会の開催

第 1 回 令和3年3月10日(水) 13:00～15:00

②加入者数(令和3年3月1日現在)

加入市共済会	18市共済会(19市)
事業所数	4,304事業所
会員数	36,466人

③利用補助事業利用者数(令和3年3月31日現在)

スポーツ施設	6,354人
健康管理	3,590人
宿泊施設	784人

Ⅲ 協会運営事業

1 総括的事項

(1) 理事会の開催

第1回理事会

と き	令和2年6月12日(金)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告に関する件 第2号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告に関する件 第3号議案 令和2年度追加事業計画及び補正予算に関する件 第4号議案 令和2年度定時評議員会の招集に関する件

第2回理事会

と き	令和3年3月30日(火)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和2年度追加事業計画及び補正予算に関する件 第2号議案 令和3年度事業計画及び当初予算に関する件 第3号議案 役員報酬に関する件 第4号議案 役員報酬の減額に関する件
報告事項(1)	労働センター南館事業の近況について
報告事項(2)	協会の組織変更について

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会

と き	令和2年6月29日(月)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告に関する件

第2号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告に関する件
報告事項(1) 労働センター南館事業の近況について
報告事項(2) 令和2年度事業計画及び収支予算について

第2回評議員会(定款第18条(決議の省略)及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定に基づき開催)

提案日 令和2年7月31日(金)
議案 評議員の選任に関する件について
決議日 令和2年8月7日(金)

※本評議員会で、西田正治評議員の後任として柴田昌幸氏(大阪府中小企業団体中央会専務理事)が評議員に選任。

(3) 監事の監査

定款第24条第1項の規定に基づき、令和元年度の決算状況の監査を実施し、監査報告を作成しました。

と き 令和2年6月4日(木)
と ころ エル・おおさか南館7階 南71号室

(4) 中間監査の実施

令和2年度事業進捗状況並びに予算執行状況の中間監査を実施しました。

と き 令和3年1月29日(金)
と ころ エル・おおさか南館7階 南75号室

(5) 協会運営会議の開催

理事長、専務理事と幹部職員で構成する運営会議を毎月開催し、各事業の進捗状況を分析するとともに、効果的な事業推進方策を企画・検討し事業実施に結びました。

(6) 個人情報適正管理委員会の開催

当協会における個人情報の収集や利用方法、管理状況等の定期的なチェックを行い、個人情報の適正な取扱いと保護を図るために、各部署の個人情報保護管理責任者等で構成する「個人情報適正管理委員会」を開催しました。

第1回 令和3年2月24日(水)

(7) 衛生委員会の開催

職員の安全及び健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進することを目的に、衛生委員会を令和2年7月14日(火)に開催しました。

毎月1回、産業医による健康相談を実施するとともに、衛生委員会だよりを令和2年度は6回(6月、8月、9月、10月、11月、1月号)発行し、健康に関する情報を職員に周知しました。

また、ストレスチェックを令和2年9月に実施したほか、インフルエンザ予防接種の補助金(一人当たり上限額2,000円)を7人に給付しました。

(8) 職員研修の実施

職員の実務能力の向上やコンプライアンス意識の高揚を図るとともに、利用者サービスの充実に目的に下記の研修会をエル・おおさか会議室で実施しました。また健康と活力ある職場環境

づくりと、部下のメンタルヘルス対策を目的に、管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施しました。（一部再掲）

・人権研修	実施日	令和2年12月16日（水）、17日（木） 午後2時～午後3時30分
	テーマ	公正採用のルールから学ぶ基本的人権
・接遇マナー研修	実施日	令和2年10月19日（月）、11月2日（月） 午後1時30分～午後4時
	テーマ	エル・おおさか 接遇ホスピタリティ研修
・管理監督者向けメンタルヘルス研修	実施日	令和3年1月20日（水）、2月15日（月）
	テーマ	職場におけるメンタル不調者への対応 ～受診のきっかけ作りから職場復帰支援まで～
・個人情報保護研修	実施日	令和3年2月2日（火）、3日（水） 午後1時30分～午後3時
	テーマ	組織に求められる個人情報保護対策と日常業務における個人情報の取り扱いについて考える

（９）その他の取組み

①女性職員の活躍を推進する取組み

- ▶令和元年度に引き続き、令和2年度においても大阪府男女いきいきプラス事業者認証制度の認証及び厚生労働省えるぼし制度2段階目に認定されており、女性職員の活躍を推進する取組みを進めました。
- ・採用に占める女性の割合：82.4%（令和3年3月31日現在）

②ノー残業デーの実施

- ▶職員の健康管理とワークライフバランスの充実、生産性の向上等を目的に、昨年度に引き続き毎週水曜日をノー残業デーとしました。

2 労使関係団体、NP0 法人等との協力体制の推進（一部再掲）

労働者の地位、人格の向上や労働組合の健全な発展に寄与するため、（一社）大阪労働者福祉協議会との緊密な連携のもとで、ランチたいむコンサート、プチ・エルナイトコンサート、特別講演会を共催で実施しました。

また、「NP0 法人 HELL0life」と共同事業体を構成してOSAKAしごとフィールドの運営を行いました。

3 エル・おおさか入館団体連絡会の開催

エル・おおさか本館・南館の入館団体で構成する連絡会を令和2年12月15日（火）にエル・おおさか本館5階視聴覚室で開催し、教養型消防訓練、教養型防災訓練を実施するとともに、団体間で情報交換、情報共有を行いました。

令和3年度 事業報告書

一般財団法人大阪労働協会

はじめに

当協会は、これまでに大阪労働大学講座等の公益目的支出計画事業である労働関係講座のほか、大阪府立労働センター（以下「エル・おおさか」）の指定管理業務、エル・おおさか南館運営事業や勤労者福祉の事業所福祉共済事業、若年者等の就職支援を行う人材開発事業などの円滑な運営に努めてきました。

エル・おおさかの指定管理業務については、第4期（令和元年度～令和5年度）の3年目となる令和3年度も「共同事業体エル・プロジェクト」が管理運営業務を実施してまいりました。令和2年度から始まった新型コロナウイルス感染症による利用の減少は令和3年度に入っても収まらず、国の緊急事態宣言による大阪府の方針のもとエル・おおさかの休館、定員の2分の1の利用、利用時間短縮などの感染拡大防止対策を行ってきましたが、コロナ禍の終息が不透明な中、利用料金収入は激減し、厳しい施設運営を求められ、事業の縮小を行いつつ指定管理業務を実施しました。

また、令和3年7月16日（金）から18日（日）までの間、エル・おおさか本館9階ギャラリーで開催されました「表現の不自由展かんさい」はマスコミ等でも大きく取り上げられ、街宣車による抗議活動などが激化したため、一般の利用客のキャンセルや南館2階の保育施設の臨時休園など、エル・おおさかの利用に多大な影響を及ぼす結果となりました。今回の件を契機として、令和3年9月1日（水）より適正な利用承認を行うため、新たに企画書の提出を求めるなど、利用承認方法の見直しを図りました。

エル・おおさか南館については、当協会の財産として引き続き安定的な経営を図るために入居者の確保をはじめ、現入居者の要望を反映した施設の修繕、改修を行うとともに整備、維持管理費等の節減などに努めました。

また、人材開発事業では、エル・おおさか内にある総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」と府内企業の産業人材確保支援を行う「中小企業人材支援センター」の運営を一体的に行い、関係機関との相互の連携を図ることで求職者への就業支援と中小企業の人材確保支援を効果的に行ってきました。

さらに、新型コロナウイルス感染症感染拡大により失業した求職者を対象に求人情報をホームページ上で発信したり、求職者を新たに雇い入れ一定期間継続して雇用した法人、個人事業主に対して雇用に必要な費用を支援する「大阪府雇用促進支援金」の支給にかかる審査業務、支払業務も令和2年度に引き続き実施しました。

I 公益目的支出計画事業

1 大阪労働大学講座

労働に関する法律や経済、福祉等について基礎から専門分野まで体系的に学べる実践的かつ高度な講座として、労使関係の安定、安心して働ける就業環境の実現、さらに、働き方、雇用形態の多様化に対応した労務管理を実現するために大阪府と共催で開催しました。令和3年度からは「前期講座」「後期講座」という区分を廃止し、「労働法分野」「労働経済・社会保障分野」の分野別区分に再編しました。また、受講生を対象にしたアンケートでも要望の多い「人的資源管理論」、「人事管理と人事評価」といった人事関連科目など新たな科目を追加しました。さらに受講生の負担を減らすために、全体の講義回数をこれまでシンポジウムを含めて41回実施していたものを33回にして実施しています。令和4年1月21日（金）には「日本の労働の足跡と将来に

について語り合おう」をテーマに雇用労働の将来展望とその課題を議論するシンポジウムを開催しました。また、令和3年度は、現代日本がかかえる様々な課題等についてその情勢や動向を解説する特別講座も開催しました。

【主 催】 (一財)大阪労働協会
 【共 催】 大阪府
 【後 援】 日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一社)大阪労働者福祉協議会、大阪府中小企業団体中央会、大阪府社会保険労務士会

【労働法分野】 実施期間 令和3年6月8日(火)～令和3年9月22日(水)
 午後6時30分～午後8時30分
 講座回数 20回
 実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
 受講者数 個人49人、団体4
 終了者数 個人43人、団体2(20回のうち14回以上出席者)
 聴講者数 延べ89人

【労働経済・社会保障分野】 実施期間 令和3年9月27日(月)～令和3年12月24日(金)
 午後6時30分～午後8時30分
 講座回数 12回
 実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
 受講者数 個人53人、団体3
 終了者数 個人44人、団体2(12回のうち8回以上出席者)
 聴講者数 延べ26人

(両分野を通じた修了者数 30人)

【シンポジウム】 開催日 令和4年1月21日(金)
 開催場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
 テーマ 「日本の労働の足跡と将来について語り合おう」
 受講者 22人

【大阪労働大学講座 特別講座】 開催日 令和3年11月16日(火)
 実施時間 午後6時30分～午後8時30分
 実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
 テーマ 「コロナ禍で思い知らされた『思い込み』の怖さ -17世紀のフランス・ベーコンの錯覚論に学ぶ」
 受講者数 76人

2 労働保険・社会保険実務講座

新しく人事労務を担当する人や興味のある人を対象に、労働保険・社会保険制度や

入社から退職までの各種手続き、主な労働保険・社会保険の給付等を基礎から学ぶ講座を2回（各2日間）実施しました。

【主 催】 （一財）大阪労働協会

【後 援】 大阪府、大阪府社会保険労務士会

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門講座 I】

実 施 日 令和3年8月5日（木）、6日（金）

午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 73人

【はじめての方のための労働保険・社会保険の実務入門講座 II】

実 施 日 令和3年11月4日（木）、5日（金）

午後2時～午後4時15分

実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室

受講者数 48人

3 労働法特別講座

企業人事労務担当者や労働組合員を対象に、①労働契約、②非正規雇用、③賃金、④労働時間、⑤労働災害の5つのテーマで実施しました。

これまで「労働法基礎講座」として実施してきましたが、令和3年度からはテーマごとに最近の重要判例の解説を中心に内容をグレードアップし、「労働法特別講座」と講座名を変更して実施しました。

【主 催】 （一財）大阪労働協会

【後 援】 大阪府

【実施内容】

実 施 日 令和3年10月14日（木）、11月2日（火）、11月9

日（火）、11月29日（月）、12月9日（木）

午後6時30分～午後8時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

受講者数 延べ233人

II その他事業

1 エル・おおさかの指定管理業務

当協会と大林ファシリティーズ(株)及び(株)コングレを構成員とする共同事業体「エル・プロジェクト」は、第4期のエル・おおさか指定管理者として令和3年度も大阪府立労働センター条例に定める「労働組合の健全な発展並びに労働者の教養の向上及び福祉の増進に資する」という設置目的に基づき、エル・おおさかの管理運営業務を行ってきました。

エル・おおさかの円滑な指定管理業務を実施するために、エル・プロジェクト運営委員会規則に則り、令和3年6月28日（月）及び令和4年3月25日（金）に運営委員会を開催し、令和2年度の事業報告や決算、令和4年度の事業計画、予算等について審議を行いました。

令和3年度に入りすぐに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い政府が大阪府を「まん延防止等重点措置を実施すべき区域」としたことにより、令和3年4月5日（月）からエル・おおさかの閉館時間を通常の午後9時から午後8時に1時間短縮しました。4月25日（日）には3度目の緊急事態宣言が大阪府に発出されたことに伴い、同日からエル・おおさかのすべての施設を臨時休館としました。その後の緊急事態宣言の延長を受け、6月20日（日）まで臨時休館を継続しました。

なお、6月1日（火）の利用分からは、業務上必要な各種試験や会議、また無観客、オンラインで開催する全国大会・イベントに限り利用可能となったため、6月2日（水）から本館地下1階、2階の有料駐車場もオープンいたしました。

6月21日（月）からは全面開館しましたが、大声での歓声・声援等が想定されるものにつきましては、定員の50%での利用という制限がかかり、宴会場での酒類の提供も停止しました。

さらに8月2日（月）には、政府におきまして4度目の「緊急事態宣言」が大阪府に発出されたことにより、すべての施設において定員の50%での利用制限がかかりました。またコンサートや式典、講演会・研修会等のイベントにつきましては、午後9時まで利用が可能とされ、イベント以外につきましては、午後8時までの利用となり、酒類の提供は引き続き停止といたしました。

10月1日（金）に緊急事態宣言が解除されたことを受け、宴会場における酒類の提供につきましても10月25日（月）より人数制限等の条件付きで再開いたしました。

なお、令和4年1月27日（木）より「まん延防止等重点措置を実施すべき区域」に指定されたため、3月21日（月）までの間、酒類の提供を停止いたしました。

こうした状況が続いたことから令和3年度の利用料金収入は大幅な減収となりました。

（1） 公平・平等な施設運営

- ▶ 利用受付開始日の申込み受付は抽選により行い、電話、FAX、電子メールは、来館者の抽選後に先着順で実施しました。
- ▶ エル・おおさかのホームページで、集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。
- ▶ 利用申込みに偽りがあると認められるときには、適切な利用申込みをしていただくよう注意喚起をしました。
- ▶ 目的利用にあたっては、目的利用を偽った料金逃れを防止するため、申込者が署名した目的利用確認書を提出していただきました。
- ▶ 利用承認方法については、より適正な運営を行うため、令和3年9月1日（水）から新規利用の場合は「利用者登録申請書」と「企画書（実施計画・内容等記載）」を提出してもらうこととしました。また、これまでも労働組合が新規利用する場合は事前に組合規約の提出が必要でしたが、団体、実行委員会の場合でも、代表者、構成員名簿、会則（趣旨説明書等）を、個人の場合は本人確認書類（運転免許証等）も併せて提出してもらうこととしました。

利用実績がある団体等でも、大ホール（エル・シアター）、ギャラリー、南ホールといった大きな施設については企画書を提出してもらい、利用登録者以外の団体あるいは実行委員会が主催の場合は、あらためて新規利用として登録し、

適正な顧客管理を行うこととしました。さらに、利用申込書の確認項目の「会議等の開催にかかる来館者整理や警備は、利用申込者の責任において行うものとする」に同意を求め、他の利用者に迷惑や負担をかけるおそれのあるものや警備等に多額の費用を要すると考えられる利用については、申込者が自らの責任で対応することを承認要件として、承認前に誓約書等を提出してもらうことにしました。

- ▶ 利用者の公平・平等利用のため指定管理業務に従事しているスタッフを対象にした専門家による研修を実施しました。
 - ・人権研修

実施日	令和4年2月2日(水)、7日(月)
	午後2時～午後3時30分
テーマ	「人権腕試し」
参加者	75人
 - ・高齢者・障がい者対応研修

実施日	令和4年1月17日(月)、19日(水)
	午後2時～午後3時
テーマ	「聴覚障がい者の理解とコミュニケーション」
参加者	36人
 - ・個人情報保護研修

実施日	令和3年11月24日(水)、29日(月)
	午後2時～午後3時30分
テーマ	「個人情報に関する脅威とその対策について」
参加者	85人
 - ・接遇マナー研修

実施日	令和3年12月6日(月)、7日(火)
	午後2時30分～午後4時
テーマ	「コロナ禍での接遇サービスについて」
参加者	43人
- ▶ 高齢者・障がい者等が施設を利用しやすくするための取組みを実施
 - ・視覚障がい者の方にも利用しやすくするため、ホームページについては音声読み上げソフトで対応しました。
 - ・(公社)大阪聴力障害者協会と連携して手話通訳、文字通訳の紹介を行うとともに、案内チラシを受付に配架しました。
 - ・聴力障がい者の方に対して筆談ボード(kakipon)を利用して筆談による受付を行いました。
 - ・館内に車椅子を5台備え、常に整備して必要とされる方に貸出を行いました。
 - ・障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担するサービスを実施しました。
(令和3年4月1日～令和4年3月31日実績 10件、12,768円)
 - ・指定管理業務に従事するスタッフは、「サービス介助基礎検定」の資格を取得し、資格保有者として適切に対応しました。
- ▶ 利用者によるモニタリングの実施
 - ・リピーターの会議室利用者2団体、エル・シアター(大ホール)2団体、プチ・エル、ギャラリー各1団体にモニターになっていただき、施設運営についての

改善点や要望事項等についてモニタリングを実施しました。

- ▶ 外部有識者及び利用者で構成する外部評価委員会を開催
 - ・ 外部評価委員会を開催し、エル・おおさかの管理運営に関する意見・要望をいただき、この意見・要望は施設運営に反映しました。（開催日 令和3年10月7日（木））

（２） 利用の増加を図る取組み

① 広報・PR活動

- ▶ エル・おおさかのロゴを使用した広報・PR
令和元年度に制定したエル・おおさかのロゴをチラシや印刷物等に使用し、エル・おおさかのPRを行いました。
- ▶ ホームページの随時更新
 - ・ 令和4年3月にエル・おおさかのホームページにCMS（ワードプレス）を導入し、お知らせや告知エリアについては、職員でページ作成、更新を可能とし、よりタイムリーに修正・更新ができるように改修しました。
 - ・ エル・シアター（大ホール）や主要な会議室を360度見渡せる動画等を引き続き掲載しました。
 - ・ 視覚障がい者の方のために、音声読み上げソフトで対応しました。（再掲）
 - ・ 室料、貸出備品等の利用料金の合計が確認できる簡易見積りシステムを提供しました。
- ▶ 認知度向上に繋げるためにカラー化した「エルちゃん☆通信」による広報
令和元年10月号からカラー化した毎月発行の広報紙「エルちゃん☆通信」に各種講座やセミナーをはじめ、エル・シアター（大ホール）、プチ・エル、ギャラリーの催しを掲載し、大阪府内の団体や関係機関、公共施設に配架しました。
- ▶ 積極的な情報発信、広いエリアへの広報の実施
 - ・ ㈱コングレが運営する施設へエル・おおさかのチラシ等の配架を行い、利用促進を図りました。
 - ・ 「第3回わくわく子どもフェスティバル」を㈱コングレと共催で開催し、エル・おおさかの認知度を高めました。

実施日	令和3年12月12日（日）	午後2時～午後3時30分
実施場所	エル・おおさか本館10階	竹・梅・寿の間
開催内容	「科学実験ショー！&イロいろ楽しむ色の実験！」	
参加者数	11組（子供と保護者）	
参加費	一組あたり550円	
 - ・ エル・おおさか公式Facebookに各種事業やイベント等の情報を提供しました。
 - ・ メールマガジンを毎月登録者に配信し各種事業等を提供しました。（登録者数：959人）
 - ・ ホームページで集会室を除く施設の空室情報をリアルタイムで提供しました。（再掲）
 - ・ 「会議室ドットコム」にエル・おおさかを登録掲載し、エル・おおさかが安くて便利で使いやすい施設であることをアピールしました。
（令和3年4月1日～令和4年3月31日閲覧実績：4,647件）

- ・京阪「天満橋駅」総合案内のタッチ式デジタルサイネージにエル・おおさかを掲出し、「天満橋駅」からエル・おおさかまでのアクセス表示を行うとともに、施設の PR を行いました。

②ソフト面の取り組み

- ▶ 駐車場料金の引き下げの継続
 - ・エル・おおさか近隣のコインパーキングでは「平日」と「土日祝」の駐車場料金に差を設けていることから、エル・おおさかでも令和元年10月1日(火)から日曜日の最大料金を2,400円から1,500円に引き下げました。令和2年8月1日(土)からはコロナ禍で公共交通機関の利用を避け、自動車で移動するケースが増えていることなどから、土曜日・祝日の最大料金も日曜日と同じ1,500円に引き下げました。また、平日の最大料金を令和2年12月末まで期間限定で2,400円から2,000円に引き下げましたが、新型コロナウイルス感染症の新規陽性率の上昇等により令和4年3月31日(木)まで延長して利便を図りました。
- ▶ 新規利用者の開拓と利用者の確保
 - ・プチ・エル利用者のポイント制度(メンバーズカード)を継続し、1区分の利用に1ポイントを付与して、5ポイントで平日午前練習利用相当額を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担して利用者に提供しました。
(令和3年4月1日～令和4年3月31日実績：4件、37,600円)
 - ・ギャラリー既利用者から新規利用者の紹介の場合、双方の利用者の利用料金を20%共同事業体「エル・プロジェクト」が負担する利用者紹介サービスを継続実施しました。
- ▶ 近隣の自治会・管理組合がエル・おおさかを利用するときは、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。
(令和3年4月1日～令和4年3月31日実績 26件、42,312円)
- ▶ 集会室の利用増加を図るため、松の間の他に竹の間についても、机、椅子を常設し45名定員の会議室としました。また、この2室を一つの会議室にして利用できるようにし、利用者に提供しました。
- ▶ イメージキャラクターの「エルちゃん」を配した卓上カレンダーを作成し、利用者へ配布し施設の PR を行い、令和3年12月には、近隣の会社等へ卓上カレンダーを持参し会議室等の利用を促す営業活動も実施しました。
(実績：225社(団体))
- ▶ 大阪府の統一キャラクター「もずやん」と「エルちゃん」を配置したメモ帳を制作し、積極的な PR に努めました。
- ▶ 利用が見込める企業・団体へ施設のリーフレットの送付を実施
 - ・会議室専用のリーフレットを近隣企業、大阪商工会議所会員企業、大阪府中小企業団体中央会傘下の共同組合、帝国データバンクが持つ企業情報を活用して送付しました。
 - ・エル・シアター、プチ・エルの利用が見込める企業・団体に対し、リーフレットを送付しました。
 - ・ギャラリー利用者に対し、利用の後には礼状を送付しました。またこれまでの

ギャラリー利用者や府内のカルチャーセンター等にDMを送付し利用促進を図りました。

▶ 利用者増加を図るイベントの開催

- ・本館地下1階のレッスンスタジオ「プチ・エル」の周知と利用促進に繋げていくために後述のランチたいむコンサートと同様に（一社）大阪労働者福祉協議会と共催でナイトコンサートを開催しました。

実施日 令和3年12月17日（金）

鑑賞者数 24人

参加費 550円

- ・プチ・エルのスタインウェイピアノの試弾会を開催しました。

本館地下1階レッスンスタジオ「プチ・エル」に設置しているスタインウェイ（D274）の試し弾きとして参加者を募り、これまでスタインウェイピアノを弾いたことがない方にその魅力を伝えるとともに、プチ・エルの周知を図ることを目的に実施しました。

実施日 令和3年12月18日（土）

参加者数 6人

参加費 50分 1,100円

▶ 夜間時間帯の利用向上のための取組を実施

- ・会員制自習室サービスの提供

自習を希望する方を登録し、登録した会員に対して、共同事業体「エル・プロジェクト」が夜間の利用のない会議室を借上げ、自習室として無料提供しました。（令和4年3月31日現在登録者数：760人）

- ・夜間利用者対象のポイントカードの導入

夜間利用者にポイントカードを発行して、1区分の利用について1ポイントを付与し、10ポイント貯まれば、次回の利用についてこれまでにポイントを付与した一番安い会議室の利用相当額を利用者に提供し、その利用料金は共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

（令和3年4月1日～令和4年3月31日実績：12件、98,120円）

- ・夜間ブレイクタイムサービスの実施

夜間利用者に対して、近隣の飲食店2店舗と提携して、当該飲食店の割引券を提供しました。

（令和3年度実績なし ※コロナ禍で飲食店との提携ができなかったため）

- ・会議室夜間利用の直前予約サービス

利用日の3日前以降の直前の利用申込みがあった場合には、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

（令和3年4月1日～令和4年3月31日実績：1件、1,344円）

- ・障がい者支援事業所の夜間利用サービス（再掲）

障がい者支援事業所が夜間に利用の場合は、利用料金の20%を共同事業体「エル・プロジェクト」が負担しました。

▶ 事業や施設の効率的、効果的な広報を行うため共同事業体「エル・プロジェクト」において「広報・PRに関する検討会」を開催しました。（8月を除く毎月開催）

- ▶ WEB 会議に対応できるようにカメラ、モニター、LED 照明、スピーカーフォンの有料貸出しを開始しました。またオンラインでのセミナーや会議の利用が見込まれることから、本館 7 階に加え新たに南館 5 階、7 階、10 階にも LAN 配線工事を実施しました。

(3) サービスの向上を図るための取組み

①施設運営の取組み

- ▶ 利用申込の受付方法の多様化を図り、窓口、FAX だけでなく、申込書を PDF 化してメールによる利用受付を行いました。
- ▶ 会議室・プチ・エル利用の際の準備・後片付けの時間として、利用時間区分の 30 分前から鍵を貸し出すサービスと、後の利用に支障のない範囲で最大 15 分間を後片付けの時間として利用者に提供するサービスを引き続き実施しました。
- ▶ エル・シアター（大ホール）利用の際の、利用時間区分の前後に利用がない場合に 1 時間の延長を行えるようにして、より利用しやすい施設づくりを行いました。
- ▶ 集会室利用の際には、会議室や宴会場として利用するにあたり、机・椅子の設置、撤収に要する時間として利用時間の前後 1 時間を利用者に提供しました。
- ▶ 利用等により施設見学ができない場合に、施設の写真等を取り込んだグーグルマップをホームページ上に公開し、施設を把握しやすい環境づくりを行いました。
- ▶ コロナ禍の中、共用部に手指消毒用のアルコールを設置し、施設利用者には非接触型体温計を無料で貸し出し、演台を設置しているすべての会議室には演台用透明パーテーションの取付けを行い、安心して利用できる環境を提供しました。また、グループワークやグループディスカッション、面接での利用の時に使用できる会議机用のパーテーションは有料で貸し出しました。
- ▶ 毎月 1 日の利用受付開始日の抽選等の待ち時間に、ペットボトルのお茶やエルちゃんグッズを抽選参加者に提供しました。また、令和 4 年 1 月 4 日（火）の利用開始日の抽選時には福袋（マスク、使い捨てカイロ、除菌ウエットシート、お菓子、卓上カレンダー等）を利用者に提供しました。

②サービス向上のために実施する自主事業

- ▶ 勤労者の知識向上やスキルアップ等を図るために次の事業を実施しました。

- ・大阪労働大学講座（再掲）
- ・労働保険・社会保険実務講座（再掲）
- ・労働法特別講座（再掲）
- ・職場のメンタルヘルス実践研修セミナー

事業所等の人事担当者やメンタルヘルスに関心のある府民を対象に、コロナ禍におけるメンタルヘルスについて専門家の講義を受け、職場にフィードバックできる実践的な研修を開催しました。

実 施 日 令和 3 年 11 月 18 日（木）
午後 1 時 30 分～午後 4 時 50 分

実施場所 エル・おおさか南館 5 階 南ホール

テ マ コロナ禍における働き方の変化とそのストレス

受講者数 46 人
受講料 1,100 円

・スキルアップセミナー

パソコン等のジョブスキルを高める講座を、事業部と人材開発部が連携して実施しました。令和3年度はセミナー参加者に DX 人材向けオンライン学習コンテンツである IBM スキルスピルドのメニューを提供しました。

実施日 令和4年3月8日(火)
午前11時～午後0時30分、午後2時～午後3時30分
実施場所 エル・おおさか本館5階 視聴覚室
受講者数 32 人

・内定者研修

中小企業等への採用内定者、新規採用者等の入社予定者に対し、社会人として必要なビジネスマナーやコミュニケーション能力等の基礎的能力研修を実施することで、新入社員が抱く不安を払拭し、職場定着の向上を図ることを目的に事業部、人材開発部が連携してオンラインで開催しました。

実施日 令和4年2月25日(金)
午後1時30分～午後3時、午後3時30分～午後5時
受講者数 26 人

・資産形成セミナー「働く世代のためのマネー講座」

お金に関する知識と判断力を身につける基礎的な講座を開催しました。令和3年度は金融商品の基礎(株式・債権)、つみたて NISA と iDeCo の概要、知って得する節税対策をテーマに実施しました。

実施日 令和4年1月20日(木)、28日(金)、2月4日(金)
午後6時30分～午後8時
実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール
受講者数 延べ138 人

▶ 第3回わくわく子どもフェスティバル ※(株)コングレとの共催事業(再掲)

▶ 勤労者をはじめ広く府民の教養の向上を図る事業

・なにわ美術展

大阪府内の勤労者や府民が余暇を活用して制作した絵画の公募展を、(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で開催しました。

実施日 令和3年11月26日(金)～令和3年11月30日(火)
出展数 205 点
鑑賞者数 774 人

・ランチたいむコンサート

エル・おおさかの利用者や近隣の勤労者が音楽に触れる機会を提供するとともに、エル・おおさかをより身近な施設に感じてもらうことを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で実施しました。

実施日 毎月第3月曜日
(5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止によりエル・おおさかが臨時休館となったため開催中止。9月は祝日の連休のため翌々日の水曜日に

開催)

午後0時10分～午後0時50分

実施場所 エル・おおさか本館10階 梅・寿の間

観賞者数 延べ599人(令和3年4月～令和4年3月)

・プチ・エル ナイトコンサート(再掲)

・スタインウェイピアノ試弾会(再掲)

・特別講演会

評論家や文化人、作家等著名な講師を招いて、勤労者や府民の教養の向上に資することを目的に(一社)大阪労働者福祉協議会と共催で開催する特別講演会を開催しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインで実施しました。

実施日 令和3年8月26日(木)

午後6時30分～午後8時

テーマ どう守る? コロナ禍の暮らし

参加者数 78人(アクセス数)

・歴史セミナー

勤労者や府民等に歴史や文化に親しみを感じてもらい、教養を深めてもらうことを目的に、歴史検証の第一人者を講師として迎え、古代や中世を題材にして開催しました。

【前期 全6回】

実施日 令和3年4月23日(金)～令和3年9月21日(火)

※第6回については12月17日に変更

午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室

テーマ 日本の疫病と信仰

～古代から現代へ繋がる病と信仰～

参加者 延べ212人

【後期 全6回】

実施日 令和3年10月27日(水)～令和4年3月16日(水)

午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか本館6階 大会議室

テーマ 古墳研究の最前線

～出現期から終末期の最新研究～

参加者 延べ337人

・文化芸術サロン

勤労者や府民等に文化に親しんでいただくとともに、教養を深めてもらうことを目的に、文化の伝播や古典文学等興味深いテーマを取上げて開催し、施設の周知を図りました。

【第1回】

実施日 令和3年9月3日(金)、17日(金)、24日(金)

午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

テ ー マ 萬葉集 名もなき人びとに思いを寄せて
受講者数 延べ 72 人

【第2回】

実 施 日 令和4年3月3日(木)、7日(月)、14日(月)
午後2時～午後3時30分

実施場所 エル・おおさか南館5階 南ホール

テ ー マ 悠久なるシルクロードから飛鳥・藤原京へ
受講者数 延べ 174 人

③サービス向上を図るための委員会等の設置

- ▶ 外部評価委員会の設置及び開催（再掲）
- ▶ モニタリングの実施（再掲）
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置

次の委員会等を設置して利用者サービスの向上に努めました。

- ・事業進捗・検証委員会（毎月開催）

提案した項目の進捗の確認と満足度を得ているか検証を行いました。

開催日 8月を除く毎月第2金曜日

- ・共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会

個人情報の適正な取扱いについて検証するため個人情報の取扱いに関する覚書に基づき、共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報適正管理委員会を開催し、全スタッフが問題意識を持って個人情報の適正管理に取り組むよう指導・監督を行いました。

開催日 令和4年2月17日(木)

- ・スタッフ情報交換会議

各部門の担当者が日ごろ気づいた事柄や利用者の意見要望等の意見交換を行い、利用者サービスの向上に努めました。

開催日 8月を除く毎月第2木曜日

④サービス向上を図るためのその他の取組み

- ▶ 利用者満足度調査の実施

エル・おおさか利用者を対象に年1回（2～3月）満足度調査を実施し、利用者の意見やニーズを把握して施設運営に反映させ、この結果についてはホームページに掲載しました。

- ▶ 月極めコインロッカーの設置

本館1階にコインロッカーを設置し、定期的な利用者の利便を図りました。

- ▶ 高機能コピー機の設置

本館1階にワークステーションを設け、カラーコピーやパソコンからの出力サービスも可能な高機能コピー機を設置し、利用者の利便を図りました。

- ▶ 「+voice」（意見箱）の設置

意見箱を公の施設のフロアに設置して、施設利用者から寄せられた意見、要望については速やかに回答を作成し、ホームページへの掲載と館内に掲出し、要望については可能な限り施設運営に反映しました。

- ▶ 館内巡回及び定期点検の実施

- ・スタッフが毎日館内巡回を行い、現状を把握するとともに定期点検を毎月実施し利用快適な利用環境を提供しました。
- ▶ 高齢者・障がい者対応研修の実施（再掲）
- ▶ 接遇マナー研修の実施（再掲）
- ▶ 会員制自習室の運営（再掲）

（４） 利用増加・サービス向上の取組みの検証等

- ▶ 会議室、エル・シアター（大ホール）、プチ・エル、ギャラリー専用のチラシの送付後に、送付先の利用の有無を新規利用者アンケートで検証しました。
- ▶ 自主事業のセミナー等の開催後にアンケート調査を実施し、どの広報ツールが有効か検証しました。
- ▶ 各種キャンペーンの対象者にどの広報ツールが有効か聞き取り検証しました。
- ▶ 各施設の利用件数、利用料金収入額、利用率の推移の比較により利用傾向を把握しました。
- ▶ 各種研修の効果をアンケート等で検証しました。

（５） 施設管理運営業務を実施する具体的な取組み

①災害時・緊急時に備えた取組み

- ▶ 利用申込書の取扱いについては、共同事業体「エル・プロジェクト」個人情報の適正管理に関する取扱要綱に基づき適正に行っていました。また、利用申込書を利用者に郵送、FAX、メールする場合は、チェックリストの項目に添い確認しながら送付、送信しました。
- ▶ 防火・防災訓練（年２回）、夜間を想定した消防訓練、エレベーター閉じ込め対応、不審者・急病人対応等の訓練を実施しました。

・消防・防災訓練	実施日	令和４年２月１４日（月）
・夜間を想定した消防訓練	実施日	令和４年１月１２日（水）
・エレベーター閉じ込め救出訓練	実施日	令和３年１２月２３日（木）
・不審者・急病人対応訓練	実施日	令和３年８月２５日（水）
- ▶ 災害時に備えて救助担架、ハンドメガホン、ヘルメット、多機能ライト、救助工具等の非常用物品を引き続き配備しました。

②効果的・効率的な修繕業務

- ▶ 大林ファシリティーズ㈱による施設の修繕計画の立案・作成
 - ・施設の現状を把握した上、「利便性の向上」「美観性の向上」「安全性の向上」「省エネルギー化」の観点に基づき、修繕項目をリストアップしました。
 - ・これまでの施設保全データや修繕実績を分析した上、ニーズに応じた効果的な修繕を計画しましたが、コロナ禍の中、緊急性の高いものに時点修正のうえ実施しました。

③防災・安全対策

- ▶ 大阪ビル群管理センターによる２４時間３６５日のバックアップ
- ▶ 大林ファシリティーズ㈱が運営する大阪ビル群管理センターに遠隔監視システムを導入し、２４時間・３６５日、常時遠隔監視を行いました。

- ・エル・おおさかから約 100mの位置にある同センターには 24 時間体制で設備技術員が常駐しており、夜間の異常発生時にも対応しました。

④新型コロナウイルス感染症感染防止対策（一部再掲）

- ▶ 次の防止対策を令和 2 年度に引き続き実施しました。
 - ・各階ロビーに手指消毒用のアルコール消毒液の設置
 - ・利用者が手で触れるところのアルコール消毒
 - ・利用への感染症防止対策用品の貸出し
 - 非接触型体温計（無料）
 - 透明アクリル板（有料）
 - ・演台用飛沫防止透明アクリル板の設置
 - ・大阪府コロナ追跡システムの導入
 - ・感染防止宣言ステッカーの掲示
 - ・利用者に感染防止の注意喚起のポスター等の掲示
 - ・受付カウンター、警備員室窓口にビニールカーテンの設置
 - ・受付カウンターで利用者が使用するボールペンを「使用済」、「使用后」に区分して設置

（6）施設改修工事

コロナ禍の中、財務状況の厳しさは避けられず、計画修繕については利用者から要望の多かった南館 5 階のトイレの改修のみを実施し、その他の計画修繕は次年度以降に先送りすることとしました。なお、施設維持管理上、緊急を要するものや新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るものは実施しました。

（7）施設の利用状況

【令和3年4月～令和4年3月】

区 分	利用件数	利用人数	利用料金収入
会議室	7,744 件	452,703 人	133,467,690 円
エル・シアター (大ホール)	114 件	92,458 人	25,407,720 円
プチ・エル	265 件	21,200 人	4,396,190 円
ギャラリー	213 日		5,037,860 円
集会室	137 件	12,000 人	6,008,980 円
計	8,473 件	578,361 人	174,318,440 円
駐車場	21,572 台	—	22,938,000 円
収入合計	—	—	197,256,440 円

(8) 大阪府への納付金額

コロナ禍の中、事業計画の見直しをして、施設の運営においては計画修繕を見送りましたが、公平・平等性は担保し、利用の維持のため、広報と利用者本位の利用者サービス、施設の維持に努めながら、経費の節減にも努め、自主事業においては募集定員を見直し事業の縮小を行い、指定管理者募集の応募時に提案した 3710 万円を納付しました。

(9) 大阪府の補填

令和 3 年度においても政府は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を発出し、これにより全館臨時休館や開館時間を 1 時間短縮、定員の 50%での利用という大阪府の方針ができました。これら大阪府の方針に基づくキャンセルの場合は利用者からキャンセル料を徴収しない旨の指示があり、そのキャンセル料相当額を大阪府が負担することが示されました。このキャンセル料相当額を大阪府から補填していただく協議が整い、1405 万 2550 円を請求しました。(令和 2 年度の補填額は 5232 万 6366 円)

(10) 府の施策・社会貢献等への取組みについて

①行政の福祉化への取組み

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」を構成する各団体の障害者雇用率を達成しました。
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」を構成する各団体は就職困難者を雇用しました。

②社会貢献・地域活動

▶ 献血活動への協力

日本赤十字社に献血車の配車を依頼し、令和 3 年 11 月 5 日(金)と令和 4 年 3 月 8 日(火)に入居団体や来館者、近隣の会社等に献血を呼びかけ献血活動に協力しました。(献血者:11 月 5 日(17 名)、3 月 8 日(7 名))

- ▶ 大阪府共同募金会と連携して NHK 歳末たすけあい等に協力し、令和 3 年 12 月 1 日(水)から同年 12 月 25 日(土)までエル・おおさか本館 1 階に募金箱を設置しました。(募金額:3,141 円)

- ▶ エル・おおさかが所在する北大江地区のまちづくり実行委員会と地域内各店舗が手作りで開催する「たそがれコンサート」の広報に協力しました。これまで練習場所等を提供していましたが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため練習利用の希望がなく、練習場所等の提供は行いませんでした。
- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」の職員が中心となり、エル・おおさか周辺の清掃活動を毎月実施しています。(5・6・7 月は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止)

- ▶ 地域貢献の一環として、エル・おおさか近隣の自治会やマンションの管理組合が利用する際には、共同事業体「エル・プロジェクト」が利用料金の 20%を負担しました。(再掲)

③府民・NPO 等との協働事業

- ▶ 子育て中の府民等が、共同事業体「エル・プロジェクト」が開催する特別講演会や歴史セミナー、文化芸術サロンに参加しやすいよう無料で一時保育を行えるように、社会福祉法人吹田みどり福祉会、NPO 法人女性と子育て支援グループ・pokkapoka と連携しました。（令和 3 年度は実績なし）
- ▶ エコキャップ運動への参画
NPO 法人エコキャップ推進協議会が実施するエコキャップ運動に参画しました。

④環境問題への取組み

- ▶ 共同事業体「エル・プロジェクト」のうち、（一財）大阪労働協会と㈱コングレは「関西エコオフィス宣言」事業所に登録しており、適正冷暖房温度の設定・夏冬エコスタイル、ゴミの再資源化等の取組みを実施しました。
- ▶ 照明の LED 化を進め、年間消費電力量及び CO2 排出量の削減に努めました。
- ▶ 雨天時には、エコの観点から傘袋を廃止し、しずくを落とせる装置をエル・おおさか本館、南館の出入口に引き続き設置しました。
- ▶ 大阪市から令和 2 年度のごみ減量優良建築物の決定通知を受けており、施設内でのゴミを減らすため、ゴミ箱を撤去して、利用者にゴミの持ち帰りをお願いし、ゴミの減量化、分別を継続実施しました。

2 エル・おおさか南館運営事業

エル・おおさか南館については、借地権信託事業が終了し、平成 26 年 4 月から労働協会が建物所有者として運営を行い、令和 3 年度においても、協会、大阪府、りそな銀行で構成する「南館三者懇談会」を開催し、大阪府との府有地の賃貸借契約に則り、円滑かつ効率的な運営とりそな銀行への着実な残債の返済に努めました。

「長期修繕計画」については、予定していた建築、設備に係る改修工事はすべて完了し、入居者に安全で快適な執務環境の提供と建物の資産価値の維持向上を図っています。

1. 入居率 98.45%（令和 4 年 3 月 31 日現在）
2. 「南館三者懇談会」の開催

[第 1 回]	開催日	令和 3 年 9 月 22 日（水）
	場 所	エル・おおさか本館 5 階 504 号室
	議 題	①令和 3 年 9 月 22 日現在の入居状況について ②労働センター南館 長期修繕計画の実施状況について ③令和 2 年度決算報告について ④令和 3 年度執行見込について ⑤意見交換
[第 2 回]	開催日	令和 4 年 2 月 21 日（月）
	場 所	エル・おおさか南館 10 階 南 101 号室
	議 題	①令和 4 年 2 月 21 日現在の入居状況について ②労働センター南館 長期修繕計画の実施状況について

③令和3年度収支見込及び返済額について

④意見交換

3. 令和3年度の返済額及び借入金期末残額

返済額：3100万円、借入金期末残額：6億1200万円

3 人材開発事業

令和3年度の人材開発事業では、委託事業18件を受託し、このうち11件は国及び地方自治体から受託しました。他7件は各種機関並びに大学等民間から受託しました。また、大阪労働協会人材開発部が運営するジョブフェア会員に対し広報等を有料で行うなど自主事業を行いました。

令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響で売り手市場は一変し、労働市場は大きく冷え込む状況となりましたが、令和3年度は後半にかけて売り手市場へと戻ってきており、人材確保ニーズはコロナ以前の状況に戻っています。また、令和3年度の事業実施手法は、令和2年度と同様に上半期はWEBシステムを介した非対面式のリモート開催が主体となりました。しかし下半期では緊急事態宣言が解除されたことで徐々に対面式のイベントが開催できるようになり、それに伴って合同企業説明会をはじめとするマッチングイベントにおける企業ニーズも高まっています。

ただし、年度を通して感染拡大防止の観点から、WEB開催や来場者の人数制限などにより事業における成果にも大きな影響を受けており、令和2年度に引き続き、事業によっては参加者数並びに就職決定数などの実績は芳しくありませんが、昨年対比では全般的に上回る実績となりました。

(1) さかいJOBステーション事業運営業務

(堺市受託事業)

堺市が設置している「さかいJOBステーション」及び「JOBステーション南サテライト」の各拠点の管理運営、並びに「JOBカフェSAKAI」、「女性しごとプラザ」及び「企業人材マッチング支援プラザ」の各事業の運営を行いました。39歳までの若者と全年齢の女性を対象に総合的に就業を支援及び人材確保が困難な市内中小企業等へのマッチング機会を併せて行い、堺市内における雇用の安定化を進めました。

【決算額：令和3年度 96,981,480円】

(事業期間：令和3年4月～令和5年3月)

【目標と実績】

項目	目標	事業実績（達成率）
来訪者数	12,000人	7,356人（61%）
新規来場者数	2,500人	2,465人（99%）
就職決定者数	1,700人	935人（55%）
求人企業情報件数	500件	545件（109%）

(2) OSAKAしごとフィールドにおける総合就業支援業務 (大阪府受託事業)

総合就業支援拠点「OSAKAしごとフィールド」と、府内企業の産業人材確保支援を行う「中小企業人材支援センター」を設置し、一体的に運営を行い、関係機関と相互に連携して効果の最大化を図りつつ、常に研究、評価、修正を繰り返しながら、本業務を実施しています。なお、本業務は支援の内容に応じて国の財源を最大限活用することとしたため、財源の区分により以下のA～Fの委託業務に役割分担しています。事業運営にあたり、大阪労働協会が代表構成員として事業統括を行い、NPO 法人 HELL0life、公益財団法人大阪産業局、株式会社パソナが構成員として事業運営を担っています。しかしながら、個々の支援を切り離して実施するのは困難であり、相互に連携・補完することにより、一体となって高い事業効果を発揮することをめざし運営しました。

A. 就職困難者就業支援業務

(事業期間：令和2年6月～令和5年3月) ※A業務のみ3年間事業

- ・財 源：大阪府単独事業
- ・主な役割：就職困難者に対する就業支援と、企業の人材確保支援を行います。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO 法人 HELL0life、株式会社パソナ

B. 大阪の成長実現に向けた公民協働人材確保推進業務

(事業期間：令和3年4月～令和4年3月)

- ・財 源：厚生労働省地域活性化雇用創造プロジェクト事業 (国庫8/10)
- ・主な役割：「製造関連」「運輸関連」「建設関連」「インバウンド関連」の37業種への正社員就職を実現します。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO 法人 HELL0life、株式会社パソナ

C. 潜在求職者活躍支援プロジェクト業務

(事業期間：令和3年4月～令和4年3月)

- ・財 源：地方創生推進交付金事業 (国庫1/2)
- ・主な役割：潜在的な求職者の掘り起こしと、企業とのマッチングを行います。
- ・主な担当：大阪労働協会、NPO 法人 HELL0life

D1. 中核人材雇用戦略デスク業務

(事業期間：令和3年4月～令和4年3月)

- ・財 源：地方創生推進交付金事業 (国庫1/2)
- ・主な役割：府内中堅・中小企業に対し、中核人材の確保支援を行います。
- ・主な担当：公益財団法人大阪産業局

D2. 中核人材雇用戦略デスク体制拡充業務

(事業期間：令和3年4月～令和4年3月)

- ・財 源：地方創生推進交付金事業 (国庫10/10)
- ・主な役割：府内中堅・中小企業に対し、中核人材の確保支援を行います。
- ・主な担当：公益財団法人大阪産業局

E. 高校生地域就職促進業務

(事業期間：令和3年4月～令和4年3月)

- ・財 源：地方創生推進交付金事業 (国庫1/2)
- ・主な役割：中堅・中小企業の魅力を高校生に伝え、将来の人材確保に寄与します。

- ・主な担当：大阪労働協会

F. 企業主導型保育事業推進業務

(事業期間：令和3年6月～令和4年3月)

- ・財 源：内閣府企業主導型保育推進事業（国庫 10/10）
- ・主な役割：「企業主導型保育施設」の設置を推進し、本施設を活用した人材の確保・定着の支援を行います。
- ・主な担当：大阪労働協会

【決 算 額：令和3年度合計 334,012,716 円】

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
新規登録者数	14,000 人	16,049 人（115%）
就職決定者数	8,000 人	6,581 人（82%）
相談対応企業数	500 社	993 社（199%）
人材確保企業数	300 社	320 社（107%）

(3) コロナ禍における民間人材サービス事業者と連携した緊急雇用対策事業に係る 求職者支援及び支援金支給業務 (大阪府受託事業)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞する中で、企業の倒産や廃業などにより失業者が増加する傾向にあります。失業期間の長期化を防ぐためにも、求職者の就職に向けた支援を行うとともに、企業における採用意欲の向上を図ることが必要となっています。

求職者の早期就職を実現するため、民間人材サービス事業者と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により失業した求職者を対象とした求人を取りまとめホームページ上で発信するとともに、求職者を新たに雇い入れ、一定期間継続して雇用した法人又は個人事業主に対し、雇用に要する費用を支援する「大阪府雇用促進支援金」を支給しました。求職者への効果的な就職支援を行い、支援金の支給に係る事務処理を迅速かつ円滑に進めるため、求職者に対する求人情報を発信するホームページの構築や相談対応、支援金の支給に係る審査、支払い等に係る業務を実施しました。

【決 算 額：令和3年度 310,497,800 円】

(事業期間：令和2年10月～令和4年3月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
支援金支給件数	13,000 件	16,610 件（128%）
EventHub 登録者	10,000 人	8,609 人（86%）
DX 研修受講数	2,000 人	3,573 人（179%）
DX 就職数	1,000 人	3,208 人（321%）

(4) 令和3年度 学生地域就職推進業務

(大阪府受託事業)

大阪府では、東京圏への人材流出の抑制と企業の人材確保による大阪経済の活性化を実現するため、府内大学生と府内企業との接点を創出する学生地域就職推進業務を実施しています。大学低学年次から積極的に学生と企業との接点を創出し、府内企業への就職意欲を向上させマッチングにつなげることで、府内中堅・中小企業の人材確保を図るとともに、内定者同士の交流の場を設けることで、府内企業への定着を支援しました。

【決 算 額：9,269,795 円（事業総額 16,754,000 円）】

（事業期間：令和3年4月～令和4年3月）

※(株)学情が代表構成員

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
企業開拓数	150 社	163 社（109%）
参加学生数（延べ）	1,860 人	2,179 人（117%）

(5) 令和3年度「近畿経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」

(近畿経済産業局 → オムロンエクスパートリンク株式会社再委託事業)

昨今の少子高齢化を背景に、生産年齢人口が減少し、人手不足が深刻になりつつある中、地域や中小企業等の成長・発展には、付加価値の拡大や労働生産性を向上させる多様な人材が不可欠となっています。また、近畿地域においては全国同様に若者の首都圏への流出が問題となっており、関西の大学卒業後の学生を如何に関西に引き留めるかが、大きな課題です。平成30年度に当事業で行った調査においても、中小企業の情報や魅力が学生に届いていないこと、企業と学生との間に意識の隔たりがあることが判明しています。

本事業では、中小企業の経営課題に即し、多様な形態（兼業・副業等）で、多様な人材（就職氷河期世代、女性、高齢者等）を確保できるよう支援しました。

近畿経済産業局管内の福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県における中小企業等を対象とし、各地域の実情を十分に認識し、地域の中小企業等の経営強化に資する人材確保支援するため、近畿管内の9機関によるコンソーシアムを構成して事業運営を行いました。

【決 算 額：24,305,600 円（事業総額 75,500,000 円）】

（事業期間：令和3年6月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
地域版マッチング会	2回（大阪・兵庫）	2回（100%）
氷河期版マッチング会	2回	2回（100%）
広域版マッチング会	1回	1回（100%）

（６）企業等の女性活躍推進に向けた認証及び啓発・支援事業（大阪市受託事業）

大阪市では平成26年度から、法令の遵守に留まらず、女性にとって働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業等を一定の基準に則り認証し、当該の企業等が社会的に認知されることでその取組が広く普及することを目的として、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」認証を実施しています。令和3年度も大阪市からの受託により引き続き、中小企業等に対する女性活躍の重要性の理解を促すアウトリーチによる啓発、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」及び「チャレンジ企業」の認証・支援、認証企業を対象とした先進事例の紹介や企業間情報交換等の機会の提供、大学生等が女性活躍に対する関心を高めるための事業を実施しました。

【決 算 額：20,158,000円】

（事業期間：令和3年4月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
アウトリーチによる啓発企業数	1,500社	1,586社（106%）
取組支援企業数	150社	233社（155%）
一つ星認証・二つ星認証	80社	93社（116%）

（７）NPO等活動支援によるコロナ禍における社会課題解決事業（大阪府受託事業）

新型コロナウイルス感染症の流行によって、失業や収入減による貧困といった経済的な問題や、人々の分断、孤立化によるつながりの喪失といった社会的な問題など、様々な課題が地域で顕在化してきています。そこで、大阪府ではコロナ禍で顕在化した社会的な課題に対して、民間の資金提供先とNPO法人等との協働により地域の課題解決を図る取組みを実施することとなりました。本事業では、コロナ化による収入減で困窮している外国人留学生の支援として成果型追加時給支援制度「OHINERI」を立ち上げ、その資金源をクラウドファンディングで調達しました。それらを活用し、外国人留学生とアルバイト採用ニーズのある企業をマッチング、双方に必要なサポートを実施しました。

【決 算 額：7,378,910円】

（事業期間：令和3年4月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
資金調達目標	5, 000, 000 円	4, 070, 000 円（81％）

（８）府内高校生向け民間求人特設ホームページ作成・管理・運用等業務

（大阪府受託事業）

府内の高等学校を卒業後、大学や専門学校へ進学せず、就職する生徒に対して、学校あっせん以外の求人に関して複数応募が可能となるよう、民間事業者と協働し、学校あっせんの求人票が少ない業種の求人情報や企業情報を取りまとめてホームページ上で発信する特設サイトを設置し、就職を希望する生徒が自分の希望する業種や職種を主体的に選択でき、自身の適性や能力を活かした仕事に就くことができるよう、より多くの求人情報や企業情報を提供するとともに、就職活動に関する情報を提供しました。

【決 算 額：990, 000 円】

（事業期間：令和３年７月～令和４年３月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
WEB サイト制作	1 件	1 件（100％）
案内資料（マニュアル）の作成	1 件	1 件（100％）

（９）令和３年度「地域中小・小規模事業者人材確保等支援事業」（中小企業等の人材確保能力定着促進事業）

（中小企業庁受託事業）

各地域の経済産業局で行っている「地域中小・小規模事業者人材確保等支援事業」（経営課題の明確化／求人像の明確化／自社の魅力発信／採用面談（マッチング）／採用後の人材定着（職場環境改善等）に関するノウハウ定着のためのセミナーや合同マッチング支援）における人材確保のノウハウ定着支援の効果的・効率的な取組のあり方について調査・分析を行い、各局が行う人材確保に関する取組みの円滑実施に向けて助言・支援等を行いました。

【決 算 額：16, 021, 001 円】

（事業期間：令和３年１２月～令和４年３月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
支援を受けた中小企業等への調査	89 件	89 件（100％）
各局事業における支援事業者	10 件	10 件（100％）

(10) 四天王寺大学インターンシップ事業 (学校法人四天王寺学園受託事業)

四天王寺大学経営学部では、3年生全員がインターンシップを行う新メニューを新入生募集の際に掲げており、平成30年度からインターンシップ関連事業で実績を有する当協会が受託して実施しています。令和3年度は、68名のインターンシップ先確保及び1週間程度の管理業務を行いました。また事前・事後研修を行い、インターンシップを有効なものとなるよう実施しました。

【決 算 額 : 4,265,800 円】

(事業期間 : 令和3年4月～令和4年3月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
インターンシップ参加人数	70 人	68 人 (97%)

(11) 関西電気管理技術者協会 5 年毎研修 (一般社団法人関西電気管理技術者協会受託事業)

関西電気管理技術者協会では、会員約 900 名が在籍しており、その中から毎年 180 名の研修を実施しています。平成 29 年度から 5 年間で当協会に委託し、カリキュラム開発、基調講演、グループディスカッション運営等を実施しました。

【決 算 額 : 令和3年度 209,000 円】

(事業期間 : 平成 29 年 12 月～令和 4 年 3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (達成率)
セミナー開催数	2 回	1 回 (50%)

(12) 大阪府立大学工業高等専門学校学内合同企業説明会事業 (大阪府立大学工業高等専門学校受託事業)

平成 28 年度から池田泉州銀行が主催者（平成 2 年度からは協力機関）となり、大阪府立大学工業高等専門学校の学生と、取引企業との出会いの機会を創出するイベントを実施しています。令和 2 年度からは当協会が主催者となり開催していますが、令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、就職年次の学年とインターンシップ年次の学生を分けた 2 部制としたイベントとし、2 日間に亘って開催しました。

【決 算 額 : 6,270,000 円】

(事業期間 : 令和 3 年 10 月～令和 4 年 3 月)

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
参加者企業数	100 社	114 社（114%）
参加者学生数	250 人	260 人（104%）

(13) 京都ジョブパーク事業「移住人材確保支援業務」

（京都府 → 株式会社パソナ再委託事業）

京都府内の企業の人材不足等に対応するため、主に首都圏・近畿圏をはじめ全国の都市部に在住する者の京都府への還流及び京都府内南部地域在住者の京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町の行政区域）への還流を図ることを目的とし、カウンセリングやセミナーなど UIJ ターン就職を希望する求職者への就職支援を行っています。さらに人材確保に課題を有する京都府内企業の求人開拓や求める人物像の発信等による人材確保支援について、京都府が実施する無料職業紹介権を最大限に活用することで一元的にマッチングすることにより効果的な支援を行いました。

【決 算 額：9,576,259 円】

（事業期間：令和3年4月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
首都圏大学訪問件数	100 件	100 件（100%）
首都圏大学との連携イベント	5 回	5 回（100%）

(14) 戦略的ツール活用型若者人材移転支援事業

（中小企業庁 → ジェイアール東日本企画株式会社再委託事業）

本事業は、滋賀県長浜市の地方企業群（北びわ湖 B's）が都市部の若者人材の獲得に向けて、デジタルツールを活用した採用活動を総合的に支援し、採用活動の高度化を図りながら地方への人流を創出することを目的とする事業です。補助金申請にあたり、地方企業群（北びわ湖 B's）をサポートし、事業内において人事業務に関するコンサルティングを行いました。

【決 算 額：330,000 円】

（事業期間：令和3年9月～令和3年12月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
人事コンサルティング件数	5 件	5 件（100％）

(15) IBM SkillsBuild 受講者管理業務

（日本アイ・ピー・エム株式会社受託事業）

IBM では社会貢献の一環として、オンライン学習プラットフォーム「Skills Build」を、求職者に対して無償提供しています。日本においても 2018 年から開始し受講者を募集しているところです。

本事業では IBM から受ける助成金をもって、受講者の募集（広報ツール作成、集客イベントの実施など）及び受講管理業務（相談対応、コース案内など）を行い、また就職決定までをサポートしました。

【決 算 額：令和 3 年度 2,611,769 円】

（事業期間：令和 3 年 10 月～令和 4 年 9 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績 (3 月末時点達成率)
受講者数	1,000 人	166 人（17％）
就職者数	100 人	39 人（39％）

(16) 府内企業の実態総合調査業務

（大阪府→（公財）大阪産業局再委託事業）

大阪府内企業の実態総合調査業務として、新型コロナウイルス感染症の影響把握及び今後の事業展開、コロナ後の企業活動の変容、課題について明らかにするための調査を実施しました。

【決 算 額：1,253,969 円】

（事業期間：令和 3 年 6 月～令和 3 年 8 月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
アンケート発送件数	10,000 件	10,000 件（100％）

(17) 情報発信・普及啓発のためのマニュアル作成・印刷業務等

（大阪府受託事業）

令和 4 年度 NP0 等活動支援によるコロナ禍における社会課題解決事業の事業公

募に向け条件、支援スキーム等を整理したマニュアル（令和4年度公募要領）や、事業の成果発表や公募に関する説明を行うイベントのチラシを作成し、府内の市町村等の関係先へ送付しました。

【決 算 額：484,572 円】

（事業期間：令和3年10月～令和3年12月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
マニュアル発送数	700 件	700 件（100%）
チラシ発送数	1,400 件	1,400 件（100%）

(18) 京都ジョブパーク事業「中小企業人材確保推進業務」

（京都府 → オムロンエクスパートリンク株式会社再委託事業）

総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」の基本方針等に基づき、「京都府中小企業人材確保・多様な働き方推進センター」の運営を通じて、求職者に対し、魅力ある京都の中小企業の情報発信やマッチングの場の提供等を実施することにより、府内中小企業への就業と定着を促進し、京都府内の中小企業の人材確保を支援する合同企業説明会を実施しました。

【決 算 額：12,122,990 円】

（事業期間：令和3年12月～令和4年3月）

【目標と実績】

項 目	目 標	事業実績（達成率）
合同企業説明会（大阪開催）	1 回	1 回（100%）
合同企業説明会（東京開催）	1 回	1 回（100%）

(19) 講師派遣事業等

（自主事業）

大阪労働協会のジョブフェア会員に対して、アンケートや広報などを有料で受託し、業務を実施しました。

【決 算 額：542,448 円】

（事業期間：令和3年4月～令和4年3月）

4 事業所福祉共済事業

大企業と中小企業の企業内福祉の格差是正と、府内の中小企業で働く勤労者福祉の向上を図るため、各市町村共済会を加入単位としてスケールメリットを活かした大阪府事業所福祉共済事業を実施しました。

(1) 調整援助事業

加入市共済会の相互の連絡調整、特約利用施設の拡大の検討を行い、会員の加入促進を行いました。

①運営協議会の開催

第 1 回 書面により開催
(提案：令和3年5月31日(月)、同意：令和3年6月2日(水))

第 2 回 書面により開催
(提案：令和4年3月14日(月)、同意：令和4年3月15日(火))

②加入者数(令和4年3月1日現在)

加入市共済会	22市共済会(23市)
事業所数	5,635事業所
会員数	55,747人

(2) 福利厚生事業

加入市共済会と意見交換を行い、会員を対象としたフィットネス施設の利用、健康管理補助、テーマパークや宿泊施設利用、展覧会の観賞補助等の事業を実施しました。

①福利厚生部会の開催

第 1 回 書面により開催
(提案：令和4年3月14日(月)、同意：令和4年3月15日(火))

②加入者数(令和4年3月1日現在)

加入市共済会	18市共済会(19市)
事業所数	4,176事業所
会員数	35,906人

③利用補助事業利用者数(令和4年3月31日現在)

スポーツ施設	6,199人
健康管理	3,736人
宿泊施設	579人
アミューズメントパーク	268人

III 協会運営事業

1 総括的事項

(1) 理事会の開催

第1回理事会

と き	令和3年6月9日(水)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室

議 案	第1号議案	令和2年度事業報告及び決算報告に関する件
	第2号議案	令和2年度公益目的支出計画実施報告に関する件
	第3号議案	令和3年度追加事業計画及び補正予算に関する件
	第4号議案	定時評議員会に提出する役員等候補者に関する件
	第5号議案	令和3年度定時評議員会の招集に関する件

第2回理事会

と き	令和3年6月28日(月)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 理事長の選定に関する件
	第2号議案 専務理事の選定に関する件
	第3号議案 役員の報酬に関する件
	第4号議案 役員報酬の減額に関する件
	第5号議案 事務局長の任命に関する件

第3回理事会

と き	令和4年3月25日(金)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和3年度 追加事業計画及び補正予算に関する件
	第2号議案 令和4年度 事業計画及び当初予算に関する件
	第3号議案 役員報酬の減額に関する件

報告事項(1) 「表現の不自由展かんさい」の利用について

報告事項(2) 労働センター南館事業の近況について

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会

と き	令和3年6月28日(月)
と ころ	エル・おおさか本館10階 集会室
議 案	第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告に関する件
	第2号議案 令和2年度公益目的支出計画実施報告に関する件
	第3号議案 理事及び監事の選任に関する件
	第4号議案 評議員の選任に関する件

報告事項(1) 労働センター南館事業の近況について

報告事項(2) 令和3年度事業計画及び収支予算について

(3) 監事の監査

定款第 24 条第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の決算状況の監査を実施し、監査報告を作成しました。

と き	令和 3 年 6 月 4 日 (金)
と ころ	エル・おおさか南館 7 階 南 75 号室

(4) 中間監査の実施

令和 3 年度事業進捗状況並びに予算執行状況の中間監査を実施しました。

と き	令和 4 年 1 月 26 日 (水)
と ころ	エル・おおさか南館 7 階 南 71 号室

(5) 協会運営会議の開催

理事長、専務理事と幹部職員で構成する運営会議を開催し、各事業の進捗状況を分析するとともに、効果的な事業推進方策を企画・検討し事業実施に結びました。

11 回開催 (7 月を除き毎月開催)

(6) 個人情報適正管理委員会の開催

当協会における個人情報の収集や利用方法、管理状況等の定期的なチェックを行い、個人情報の適正な取扱いと保護を図るために、各部署の個人情報保護管理責任者等で構成する「個人情報適正管理委員会」を開催しました。

第 1 回 令和 4 年 1 月 25 日 (火)

(7) 衛生委員会の開催

職員の健康保持増進を図り、快適な職場環境の形成を促進することを目的に、衛生委員会を令和 3 年 4 月 16 日 (金) に開催しました。

毎月 1 回、産業医による健康相談を実施するとともに、「衛生委員会だより」を 6 回 (4 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月号) 発行し、健康に関する情報を職員に周知しました。

また、ストレスチェックを令和 3 年 9 月に実施したほか、インフルエンザ予防接種の補助金 (一人当たり上限額 2,000 円) を、職員 10 人に給付しました。

(8) 職員研修の実施

職員の実務能力の向上やコンプライアンス意識の高揚を図るとともに、利用者サービスの充実を目的に下記の研修会をエル・おおさか会議室で実施しました。

また健康と活力ある職場環境づくりと、部下のメンタルヘルス対策を目的に、管理監督者向けのメンタルヘルス研修を実施しました。(一部再掲)

・個人情報保護研修	実施日	令和 3 年 11 月 24 日 (水)、29 日 (月) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
	テーマ	「個人情報に関する脅威とその対策について」

- | | | |
|--------------------|-----|------------------------------------|
| ・ 接遇マナー研修 | 実施日 | 令和3年12月6日(月)、7日(火)
午後2時30分～午後4時 |
| | テーマ | 「コロナ禍での接遇サービスについて」 |
| ・ 人権研修 | 実施日 | 令和4年2月2日(水)、7日(月)
午後2時～午後3時30分 |
| | テーマ | 「人権腕だめし」 |
| ・ 管理監督者向けメンタルヘルス研修 | 実施日 | 令和4年2月8日(火)
午後2時～午後3時30分 |
| | テーマ | 「ラインケア研修」 |

(9) その他の取組み

①女性職員の活躍を推進する取組み

- ▶令和元年度より、大阪府男女いきいきプラス事業者認証制度の認証及び厚生労働省えるぼし制度2段階目に認定されており、女性職員の活躍を推進する取組みを進めました。
- ・採用に占める女性の割合：63.6%（令和4年3月31日現在）

②ノー残業デーの実施

- ▶職員の健康管理とワークライフバランスの充実、生産性の向上等を目的に、毎週水曜日をノー残業デーとして実施しました。

2 労使関係団体、NPO 法人等との協力体制の推進（一部再掲）

労働者の地位、人格の向上や労働組合の健全な発展に寄与するため、（一社）大阪労働者福祉協議会との緊密な連携のもとで、ランチたいむコンサート、特別講演会、なにわ美術展、プチ・エルナイトコンサートを共催で実施しました。

また、NPO 法人 HELL0life と共同事業体を構成してOSAKAしごとフィールドの運営を行うほか、社会福祉法人吹田みどり福祉会、NPO 法人女性と子育て支援グループ・pokkapoka に協力を依頼し、特別講演会等開催時に一時保育を無償で実施しました。（令和3年度実績なし）

3 エル・おおさか入館団体連絡会の開催

エル・おおさか本館・南館の入館団体で構成する連絡会を、令和4年2月14日(月)に開催し、教養型の防火・防災訓練を実施し、団体間で情報交換、情報共有を行いました。